



# みやぎ生活協同組合 2012 CSR REPORT

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2012  
2011年度社会・事業・環境活動についての報告書



# Contents

## 理念・ご挨拶

みやぎ生協とは ..... 02

## ともに歩もう築こう未来 ..... 04

### 復興支援の取組み

### 01 第1章 食品の安全・安心の取り組み

食品の安全を確保する仕組みをさらに確かなものへ ..... 14  
取り組みを強化しています

みやぎ生協の「産直」が産消直結「めぐみ野」にかわりました ..... 16  
顔とくらしの見える産直をさらに広げました ..... 19

### 02 第2章 メンバー&社会貢献活動

人と人がふれあう機会をつくり自主的でいきいきとした ..... 20  
メンバー(組合員)活動を進めています  
くらしと豊かな地域づくり ..... 22  
平和とくらしの見直し活動 ..... 23  
地域社会への貢献 ..... 24  
各種助成、表彰、募金活動 ..... 25

03

### 第3章 事業活動

メンバーのくらしと地域の復興のため災害に強い  
生協づくりを進めています

店舗 ..... 26  
共同購入 ..... 27  
くらしのサービス ..... 28  
こーぶ福祉会 ..... 29  
学校部・(株)宮城県学校用品協会 ..... 30  
機関運営とコンプライアンス ..... 31

04

### 第4章 環境活動

かけがえのない自然・環境を未来に残していく取り組みを進めています  
理念・方針 ..... 32  
生協事業におけるCO<sub>2</sub>の総量削減 ..... 33  
事業からの廃棄物の削減・再資源化 ..... 34  
環境に配慮した地域社会の構築 ..... 35  
商品事業における環境配慮 ..... 36  
外部環境監査、ISO審査、内部環境監査 ..... 37  
事業活動と環境のかかわり ..... 38

みやぎ生協30年の歩み ..... 40





## みやぎ生協のめざすもの

わたしたちは、協同の力で、  
人間らしい暮らしを創造し、  
平和で持続可能な社会を実現します。

### 協同組合の定義・価値

1995年9月に開催された国際協同組合同盟(ICA)100周年記念大会で採択した21世紀に向けた世界の協同組合の活動指針を示す協同組合原則。

#### ●定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

#### ●価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

## 協同組合が よりよい社会を築きます

Co-operative enterprises build a better world



今年、2012年は「国際協同組合年」です。協同組合が果たす、経済・社会への貢献やさまざまな活動をさらに広めるために今後への期待とともに、国連が定めた国際年です。

## 2012 CSR REPORT

## 発行にあたって

みやぎ生協「2011年度 社会・事業・環境活動についての報告書」は、この1年間の生協が社会的責任を負うべき課題とその取り組み、東日本大震災後の復興支援に関連するみやぎ生協の取り組みと全国からの支援についてまとめています。

2011年3月11日発災の東日本大震災とその後の東京電力福島原発の過酷事故は、被災地に未曾有の被害をもたらしました。この間の日本生協連と全国生協グループそしてお取引各社、NGO・NPO、ご支援いただいたすべての方々に深く感謝申し上げます。

2011年度、みやぎ生協は、地域産業の復興支援「食のみやぎ復興ネットワーク」、「せいきょう便」等の新たなお買い物の支援、ボランティアセンターの活動などを通じて被災地支援に取り組みました。食品の安全を確保する仕組みの強化とともに、めぐみ野生産者と共に、「めぐみ野」の放射性物質の自主的モニタリング検査を実施しました。生協事業における節電対策をすすめCO<sub>2</sub>削減の目標を達成しました。メンバー数は65万2千世帯を超え、東日本大震災での累積損失約39億円のうち約33億円を解消することができました。

2012年度はみやぎ生協30周年、国連が定めた「国際協同組合年」です。みやぎ生協は、設立の礎となった創設者たちの伝統を受け継ぎ、協同組合の理念のもとに、復旧・復興への道のりをともに歩み未来を築くために引き続き役割を果たしてまいります。東北地方の拠点生協として、すべての役職員が、メンバー・お取引各社・地域社会からの信頼に応えられるよう日々の業務に取り組みます。みやぎ生協へのみなさまのさらなるご指導をお願い申し上げます。



みやぎ生活協同組合  
理事長

齋藤 えつ子

# みやぎ生協 とは…

## 協同組合とは

協同組合は、メンバー（組合員）の共通の願いやニーズを満たすためのメンバーの助け合い（相互扶助）の組織です。イギリスの労働者28人が出資金を出し合い、自分たちの暮らしを守るために必要なものを共同で調達し、分け合う仕組みを作った「ロッヂデール公正先駆者組合」が協同組合の始まりで、日本では賀川豊彦らにより、明治時代に本格的な生協がつくられました。現在、日本では6,000万人を超える方が生協の組合員となっています。

## みやぎ生協のはじまり

1982年に、宮城県学校生協（1952年設立）と宮城県民生協（1970年設立）の2つの生協が合併して現在のみやぎ生協が誕生しました。2つの生協とも100億円を超える供給高で、当時は大型生協同士の合併ということで全国的にも注目されました。



みやぎ生協の誕生の様子

## みやぎ生協の運営

メンバーの中から選出された総代による総代会が年に1回開催され、あらたな年度の重要な方針などが決定されます。日常的には、総代会で選出された理事（会）や理事会から負託を受けた常勤理事会が、総代会の決定に基づき業務執行に責任をもちます。また、監事が理事（会）の業務執行を監査するなど、生協の民主的な運営を確かなものにするため、さまざまな仕組みを設けています。

## みやぎ生協の活動・取組み

生協は事業体であると同時に生活者の組織です。人と人が多様にふれあう様々な活動や暮らしを守る活動、子育て支援、食育活動、環境や平和を守る取組み、ユニセフ活動、社会的弱者への支援など、他の団体やNPO法人などとも連携し、多岐にわたる活動や取組みを行っています。また、2011年度は東日本大震災が発生したことから、被災者された方々への支援や地域の産業復興支援にも積極的に取組みました。



メンバーからの募金を宮城県に贈呈

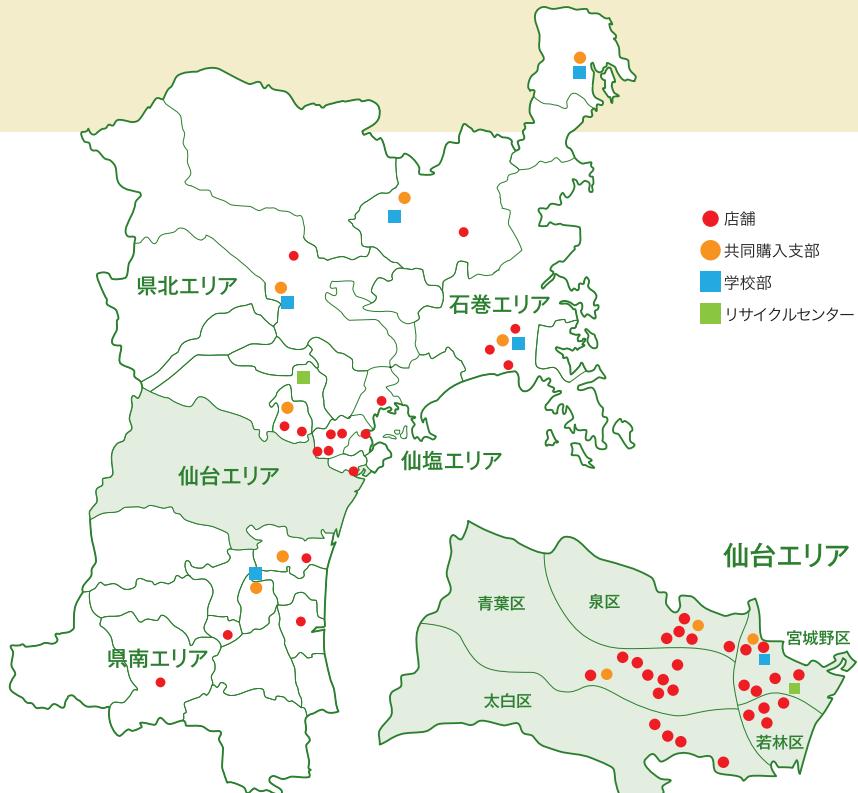
## 2011年度決算概要

2010年度は東日本大震災による建物や商品、営業できなかことによる損失が69億円にのぼり、累積損失の額は約39億円になりました。2011年度予算では経常剰余金で5億85百万円の赤字予算とし、この分も合わせて、2011年度に策定した第9次中期計画では累積損失を3年間で解消する計画をたてました。幸い、震災後、店舗では供給の大幅な増加、共同購入の

利用者が急速に回復したことなどで、供給高は2010年度の実績を超え、経常剰余金も約27億円の黒字となりました。その結果、当初3年間で解消するとしていた累積損失の8割を1年間で解消できる見通しとなりました。また、メンバーに対するコーポレートポイントによる割戻し金額は3億56百万円となりました。

## みやぎ生協の概要

みやぎ生協へ加入しているメンバーの数は652,757世帯、宮城県内世帯数の71.1%で、全国でも最も高い加入率です。また、宮城県の食品小売業（スーパーマーケット）に占めるシェアは県内第1位の23.7%で、宮城県民にとって、なくてはならない組織となっています。



供給高(売上高)  
**1,003億72百万円**  
前年比101.9% / 店舗722億円、共同購入265億円、サービス17億円

出資金(資本金)  
**221億96百万円**

職員数  
**6,841人**  
正規839人、パート・アルバイト・嘱託6,002人  
※関係団体への出向者含む

メンバー(組合員)数  
**644,559人**  
はん数  
**42,252 はん**  
はんメンバー数  
**137,438人**  
(2012年3月20日現在)

主な事業  
**店舗・共同購入**  
生鮮食品、食品、日用雑貨、衣料品などの供給事業  
**文化サービス事業・受託共済事業**

主な加盟団体  
日本生活協同組合連合会・  
宮城県生活協同組合連合会・  
生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合  
子会社  
(株)コープフーズ東北・(株)宮城県学校用品協会  
(株)コープトラベル東北・(株)パティオ西多賀・  
(株)コープ総合サービス・(株)コープエステート

## 東北6県の生協と共同しています

コープ東北サンネット事業連合

1995年に、東北の3生協（みやぎ生協、いわて生協、生協共立社）が参加してサンネット事業連合という組織を作りました。この事業連合は、東北の生協が商品企画や仕入れ、業務システムなどを共同で行うことにより、厳しい競争環境の中でも、それぞれの地域で事業経営力の強化を図ることを主な目的としています。共同購入事業は6県が統一することによって大きく供給を伸ばすことができ、店舗でも東北の全ての店舗で統一企画を実施し大きな成果をあげています。みやぎ生協はこの事業連合で中核的な役割を果たしています。



## 特集

# ともに歩もう 築こう未来

### 復興支援の取組み

- 被災者支援
- お買い物支援
- 地域産業の復興支援
- 災害に強い生協づくり

2011.3.11▶

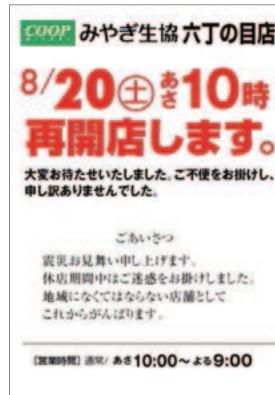
## 被災者支援

東日本大震災以降  
私たちみやぎ生協は  
1日でも早く  
いつもの暮らしを  
取り戻すため  
様々なカタチでの  
支援に  
取り組みました

### 店舗の営業再開

2011年3月11日東日本大震災直後、  
27店舗が店頭での商品販売を行いました。  
翌日も本部と連絡が取れない中、現場の判断  
で44店舗が商品販売を行いました。

その後の営業は、商品入荷状況の不安定から日々「商品が無くなりしだい閉店」の形で継続し、4月1日より37店舗が午前10時～午後9時の統一した営業時間で再スタートしました。メンバーのライフスタイルが、ライフラインの復旧や各企業の営業再開で震災前に戻りつつある中、仕事帰りでもお買物ができるよう閉店時間を20店舗で午後10時、8店舗で午後11時まで拡大しました。



### 復興くらし応援価格

震災後のメンバーの生活をサポートする  
ために、通常価格より10%～30%を値下げ  
した商品を4月1日より「復興くらし応援価  
格」としてスタートしました。開始当初は90  
品目でしたが、品揃えの回復とともに登録  
数も増え、現在は約2400品目をディリー、  
加工食品、菓子、生活関連の各売場にて  
展開しています。商品は2ヶ月サイクルにて  
見直しをはかり、季節の中で利用頻度の高  
いものを中心に選定しています。2012年  
度からは「もっと!くらし応援」に名称を変え、  
更なるお役立ちを目指してまいります。



## 共同購入の営業再開

震災当日は配達を中断し、高齢メンバーの安否確認などを行いました。物流が途絶し、燃料も不足し、翌週からの通常配達は中止せざるを得ませんでした。被災した職員も最大限出勤し、災害支援活動に全力で取り組みました。3月14日からは共同購入登録者へのお見舞い訪問活動を開始し、約60万点のお見舞い品をお届けしました。

震災後、再開第一号となった4月2週号のWeekは、4ページ立てで写真コマもなく、注文書には商品名の印字もありませんでしたが、手にしたメンバーは共同購入の再開を本当に喜んでくださいました。地震や津

波の被害により5,251ヶ所に注文書をお届けできませんでしたが、前年供給高の40%、前年利用者数の55%が回復しました。



お見舞い訪問活動

## 被災者支援企画

### 行政避難所への共同購入配達

16ヶ所の行政避難所で最大週5回の共同購入配達を行いました。被災者の方々は栄養バランスの取れた暖かい食事にとても喜んでくださいました。乳幼児のいる避難所には紙おむつや粉ミルクなどのお見舞い品もお届けしました。



避難所への配達の様子

### 気仙沼避難所へのお弁当支援

気仙沼支部では市内の行政避難所にお弁当の配達を行いました。6月1日から9月11までの間、昼食・夕食用のおかず弁当を7万3,736食お届けしました。被災者の方々はボリュームのあるおいしいお弁当にとても喜んでくださいました。



おかず弁当

### 仮設住宅への灯油支援

仮設住宅に暮らすメンバーを対象に、灯油18リットルとポリ缶収納BOXの無償支援を行いました。1月21日には気仙沼大島で340世帯、3月3日には石巻市渡波地区で800世帯に無償支援を行いました。



仮設住宅への無償支援の様子

## 全国の生協からの支援

3月13日のコープこうべ先遣隊3名を皮切りに4月17日までに全国各地の生協からみやぎ生協に対する人的支援は64生協、延べ2,992人にのぼりました。

また、物資の支援も多数寄せられました。

### 全国の生協からの支援状況

累計人数(2011年3/13～4/17)

| 生協名          | 共   | 店     | 共済    | 計     |
|--------------|-----|-------|-------|-------|
| コープさっぽろ      | 118 | -     | 60    | 178   |
| 青森県庁生協       | -   | 12    | 5     | 17    |
| コープあおもり      | 40  | 32    | 10    | 82    |
| 秋田県北生協       | 48  | -     | -     | 48    |
| コープあきた       | 62  | 12    | 10    | 84    |
| 生協共立社        | 35  | -     | 20    | 55    |
| コープあいづ       | -   | 5     | -     | 5     |
| コープいにがた      | 12  | 12    | -     | 24    |
| 新潟総合生協       | 4   | 22    | -     | 26    |
| コープいしかわ      | 8   | -     | -     | 8     |
| 富山県生協        | 4   | -     | -     | 4     |
| コープネット事業連合   | -   | -     | 10    | 10    |
| コープネット労組     | 10  | -     | -     | 10    |
| とうきごーぱ       | 4   | 14    | -     | 18    |
| コープぐんま       | 14  | -     | -     | 14    |
| パルシステム山梨     | -   | -     | 5     | 5     |
| 生活クラブ山梨      | -   | -     | 5     | 5     |
| さいたまコープ      | -   | 4     | -     | 4     |
| パルシステム埼玉     | -   | -     | 5     | 5     |
| コープとうきょう     | -   | 80    | -     | 80    |
| パルシステム東京     | 4   | 4     | 5     | 13    |
| 自然派くらぶ生協     | -   | -     | 5     | 5     |
| ナチュラルコープヨコハマ | -   | -     | 5     | 5     |
| パルシステム神奈川ゆめ  | -   | -     | 5     | 5     |
| ちばコープ        | 20  | 26    | -     | 46    |
| パルシステム千葉     | -   | -     | 5     | 5     |
| 東都生協         | 4   | -     | -     | 4     |
| コープながの       | 2   | 8     | -     | 10    |
| 東海コープ事業連合    | 85  | -     | -     | 85    |
| コープみえ        | 8   | 2     | 10    | 20    |
| コープあいち       | 2   | 12    | 15    | 29    |
| コープざふ        | 2   | 14    | 10    | 26    |
| コープこうべ       | 54  | 506   | 15    | 575   |
| おおさかパルコープ    | 50  | -     | -     | 50    |
| 大阪いどがわ市民生協   | 9   | -     | 5     | 14    |
| 大阪いすみ市民生協    | -   | 8     | 30    | 38    |
| コープしが        | 4   | 4     | 15    | 23    |
| 福井県民生協       | -   | 4     | 10    | 14    |
| 京都生協         | 20  | 24    | 5     | 49    |
| わかやま市民生協     | 10  | -     | 5     | 15    |
| ならコープ        | 11  | 9     | -     | 20    |
| 生協ひろしま       | 20  | -     | 40    | 60    |
| おかやまコープ      | 4   | -     | 20    | 24    |
| 生協しまね        | 5   | 32    | -     | 37    |
| コープやまとぐち     | -   | 8     | 5     | 13    |
| 鳥取県生協        | -   | 4     | 5     | 9     |
| コープ中国四国事業連合  | -   | 3     | -     | 3     |
| コープえひめ       | 20  | 8     | 30    | 58    |
| コープかがわ       | 12  | 14    | 40    | 66    |
| とくしま生協       | 10  | -     | 5     | 15    |
| エフコープ        | 14  | 10    | 45    | 69    |
| ララコープ        | 18  | 34    | 20    | 72    |
| コープさが        | -   | 18    | -     | 18    |
| 生協水光社        | 4   | 6     | 15    | 25    |
| コープ熊本学校生協    | -   | -     | 10    | 10    |
| コープみやざき      | -   | 8     | 5     | 13    |
| コープおきしま      | 20  | 14    | 20    | 54    |
| コープおきなわ      | -   | -     | 15    | 15    |
| 日本生協連        | 5   | 138   | -     | 143   |
| コープ共済連       | -   | -     | 530   | 530   |
| パルシステム連合会    | -   | -     | 5     | 5     |
| パルシステム共済連    | -   | -     | 20    | 20    |
| 総額           | 776 | 1,111 | 1,105 | 2,992 |

## 被災者支援

ボランティアセンターの設置や学校への支援そして、心の安らぎのための文化企画に取り組みました

### ふれあい喫茶（サロン活動）

仮設住宅集会所や店舗、メンバー集会室などで、お茶を飲みながら一緒にゆったりして会話などを楽しむ活動です。さまざまな会場で、延べ309回取り組みました。被災された方の要望に応えて小物づくりやくらしに関する学習、医療機関と連携した健康チェック、お取引先様と協同した学習会なども行い、日常の暮らしを取り戻すお手伝いをしました。



ふれあい喫茶

### 子育てひろば

震災により遊び場が少なくなった子どもたちのために、遊び場の提供やミニミニ運動会、ユニセフの協力を得て、親子の心のケアの活動などに取り組みました。ふれあい喫茶との同時開催により、世代を超えた交流の場にもなりました。



子育てひろば

### おゆずり会

メンバーや全国の生協、NPO法人ふうどばんく東北AGAINなどから寄せられた生活雑貨・衣類などの物資のおゆずり会や支援バザーなどを23回開催し、2,200名を超える被災された方々にお届けしました。



おゆずり会

## 被災者支援文化企画

「被災された方の心の安らぎを感じてもらえる場に」と、取組んだ文化活動は、県内10会場で実施し、コンサート・落語・和太鼓などさまざまなジャンルに、延べ3,500名もの方が参加しました。交通手段が復旧していない被災地（気仙沼・石巻・仙南）からは無料の送迎バスを運行しました。「震災以来ゆっくり音楽を楽しむのは初めて」「涙が出た」など参加者は大変好評でした。



蛇田店でのクミコさんによる復興支援コンサート

## 被災した児童生徒や学校に学用品、教具を支援

ユニセフは50年ぶりに日本への支援を行いました。長年のパートナーであるみやぎ生協に協力を求め、共同購入のトラックで被災地に運んだ飲料水はじめ、4月の学校再開に向けた活動では学校部が大きな力を発揮し、被災した児童生徒や学校へ学用品や教材教具の支援が円滑に進みました。



©日本ユニセフ協会  
女川第二小学校に届けた学用品の入ったバッグ



## みやぎ生協ボランティアセンターの取り組み

2011年5月より、被災者の暮らしを応援するため、県内4ヶ所（県北、石巻、仙南、仙塩）にみやぎ生協ボランティアセンターを設置しました。市町のボランティアセンターをはじめ、医療機関、社協、仮設住宅で見守り活動を担っている団体、民生委員、NPO、お取引先様などと連携しながら、被災者に寄り添いコミュニティづくりなどを応援するボランティア活動に取り組んでいます。



ボランティア学習会の様子

### ボランティア学習会を行いました

6月、ボランティア活動をすすめるときに大切にすることや、コープこうべの阪神淡路大震災ボランティア活動の実践を学ぶ学習会を開催し80名が参加しました。また10月には、支援者のための心のケアの学習会を仙台市、石巻市で開催し、61名が参加しました。

## ボランティアセンターの取組み

2011年5月より県内4ヵ所にボランティアセンターを設置、他団体と連携し、2012年3月現在、以下の活動を行いました。

|                    | 回数  | ボランティア数 | 参加者数   |
|--------------------|-----|---------|--------|
| ふれあい喫茶・子育てひろば      | 309 | 2,674   | 13,027 |
| バザー・おゆずり会・物資提供     | 23  | 181     | 2,279  |
| 募金活動               | 20  | 90      | —      |
| 生産者支援              | 23  | 456     | 200    |
| 炊き出し               | 11  | 163     | 2,210  |
| 文化企画               | 10  | 87      | 3,496  |
| お祭り                | 8   | 135     | 1,720  |
| ボランティアセンターへのスタッフ派遣 | 45  | 106     | —      |
| その他                | 64  | 767     | 732    |
| 合計                 | 513 | 4,659   | 23,664 |

| ■ふれあい喫茶+子育てひろば | ■生産者支援活動                     |
|----------------|------------------------------|
| 7月12日 亘理店      | 5月21日 石巻                     |
| 7月12日 岩沼店      | 5月28日 石巻                     |
| 7月19日 七ヶ浜      | 6月4日 石巻                      |
| 7月26日 亘理店      | 6月9日 南三陸町                    |
| 7月30日 亘理店      | 6月25日 南三陸町                   |
| 8月6日 岩沼店       | 7月9日 南三陸町                    |
| 8月30日 亘理店      | 7月16日 南三陸町                   |
| 9月6日 亘理店       | 7月22日 南小泉店                   |
| 9月13日 岩沼店      | 7月23日 南三陸町                   |
| 9月20日 亘理店      | 8月27日 南三陸町                   |
| 10月4日 亘理店      | 9月10日 南三陸町                   |
| 10月7日 気仙沼      | 9月10日 南三陸町                   |
| 10月11日 岩沼店     | 10月8日 南三陸町                   |
| 10月17日 気仙沼     | 10月22日 石巻                    |
| 10月18日 亘理店     | 10月29日 南三陸町                  |
| 10月22日 亘理店     | 11月26日 南三陸町                  |
| 11月1日 亘理店      | 12月17日 南三陸町                  |
| 11月8日 岩沼店      | ■バザー・おゆずり会・物資提供              |
| 11月21日 石巻      | 4月26日 多賀城店                   |
| 11月26日 亘理店     | 5月23-25日 沖野店                 |
| 12月6日 亘理店      | 5月30日 多賀城店                   |
| 12月13日 岩沼店     | 6月11日 六丁の目店                  |
| 12月20日 亘理店     | 6月14日 塩釜駅の入店                 |
| ■スタッフ派遣        | 6月16日 六丁の目店                  |
| 7月6日 仙台        | 7月9日 加美町                     |
| 7月7日 仙台        | 7月16日 大代店                    |
| 7月8日 仙台        | 8月7.8日 南三陸町                  |
| 7月9日 仙台        | 8月9日 南三陸町                    |
| 7月10日 仙台       | 9月10日 多賀城店                   |
| 7月11日 仙台       | 9月11日 西多賀店                   |
| 7月12日 亘理       | 9月20日 気仙沼                    |
| 7月13日 仙台       | 9月22日 気仙沼                    |
| 7月13日 仙台       | 9月28日 気仙沼                    |
| 7月14日 亘理       | 11月1日 石巻大橋店                  |
| 7月14日 仙台       | ■募金活動                        |
| 7月15日 亘理       | 4月22日 八幡町                    |
| 7月16日 亘理       | 4月24日 古川南店・大河原店              |
| 7月17.18日 仙台    | 6月11日 4エリア合同                 |
| 7月19日 仙台       | 6月11日 愛子店                    |
| 7月20日 亘理・仙台    | 貝ヶ森店・大代店・大富店・柏木店・柏沢店・本町店・柳生店 |
| 7月21.22日 亘理・仙台 | 6月11日 柏木店                    |
| 7月23-25日 亘理・仙台 | 7月28日 女川                     |
| 7月26日 亘理       | 7月28日 仙台                     |
| 7月26日 仙台       | 7月29日 亘理                     |
| 7月27日 亘理・仙台    |                              |
| 7月28日 亘理       |                              |
| 7月28日 仙台       |                              |
| 7月29日 亘理       |                              |

上記以外にも他団体と連携し多くの取組みを行いました。

## 学校部としての支援・活動

## 被災児童生徒の減失教材教具無償支援の各学校案内とお届け

学校用品協会では、被災後すぐに県内小中学校へ、被災によってなくされた教材教具の無償提供の案内を行い、学校からの申請に基づき、減失教材をお届けしました。

この取り組みは、学校用品協会独自の支援と合わせて各取引先商社様の支援をいただきながら行ったものです。このことで、被災児童生徒が津波によって無くした教材を揃えることができました。

これらのいち早い行動は、被災校の先生、保護者の方々からも大変感謝されました。



学校用品職員による県内一斉支援品お届けの様子

## こ～ぶ家庭教育センターの地域支援活動

こ～ぶ家庭教育センターでは、取引先メーカーなどからの支援物資（毛布、消毒液、ミルクなど）、子どもたちの学用品などを被災会員宅や避難所にお届けする活動を担当職員や地域の学習センターが行いました。

さらに、現在は被災会員への6ヶ月無償支援制度の案内を、取引先の協力を得て実施してきました。また被災地区の避難所や被災のあった幼稚園・保育所で児童を中心として、学用品、絵本や教材提供などの活動を行いました。



女川町での夏祭りイベントの様子

## 共済としての支援・活動

## ご契約者訪問活動を行ないました

東日本大震災により被害のあった方々に一刻も早く共済金・見舞金をお支払するため、特に被害の大きかった沿岸部を中心にお見舞いの訪問活動を実施しました。237箇所の避難所と約18,000戸の契約者宅を全国64生協からのべ2,800人が参加し、異常災害見舞金のその場での請求手続きや全国から寄せられた見舞い品や折り鶴をお渡しお見舞いの気持ちをお伝えしました。メンバーの中には、全国の仲間の気持ちとして受け取り涙を流される方もいらっしゃいました。お金ではない、気持ちをお届けすることもできました。

## 2012年1月20日現在の共済金・異常災害見舞金のお支払状況

全半壊:20,870件10億4300万円、一部壊:18,791件1億8791万円、合計39,661件12億3141万円の異常災害見舞金と、震災による共済金、1,478件9億200万円をお支払しました。



共済訪問活動の様子

## お買い物支援

お買い物に関する  
様々な支援を店舗や  
共同購入で取組みました

### 店舗～「ふれあい便」拡大

「こ～ぶふれあい便」は、従来生活文化部ですすめている福祉へ重点を置いたスタイルに加え、お買物に不便さを感じている方であればどなたでも登録でき、週2回店舗で扱っている商品を自宅までお届けする買物代行サービスです。

昨年の大震災等によりお買物の不便な方や様々な理由でお買物に行けない方への支援策として2011年6月より石巻、亘理、名取、塩釜、愛子の5地区も対象に加えスタートしております。2012年3月20日時点での新規登録者は192名、累計登録

者数は333名となっており、2012年度も利用者の声を事業改善に反映し、生協らしい事業として拡大を進めてまいります。更に2013年度まで大震災で被害を受けたメンバーの生活支援を目的に、全国の生協の援助を頂き「ふれあい便お買物割引券」も発行しております。ふれあい便対象店舗は、以下の15店舗です。

#### ■ふれあい便対象店舗

八木山店・西多賀店・桜ヶ丘店・  
富沢店・黒松店・国見ヶ丘店・鶴ヶ谷店・  
柳生店・幸町店・六丁の目店・蛇田店・  
亘理店・塩釜杉の入店・愛子店・  
名取西店

上記の15店舗

### こ～ぶ ふれあい便の流れ



【注文確認】 配達当日、追加注文がある場合は、担当店舗までご連絡ください。



【お買い物】 10:00頃から担当者が注文書を見ながらお買い物をします。



【お会計】 会員さんごとにレジで会計をします。



【お届け】 13時～15時ごろにお伺いし、商品をお渡します。このとき次回分の注文をお預かりします。



【積み込み】 注文と内容を最終確認し、積み込みます。



【セット】 商品は保冷剤入りの箱にセットします。

### せいきょう便

移動店舗「せいきょう便」は、被災地支援の一環として、3月11日の東日本大震災で近隣小売店の閉店、または近隣に小売店がない仮設住宅への入居等で買物に困っている方への商品供給を目的に、2011年8月より1号車をスタートさせました。

ならコープから寄贈を受けた改造2tトラックに、蛇田店から生鮮食品も含めてお

よそ600品目を満載し、津波被害が大きい石巻市と東松島市の仮設住宅や小売店が閉店している地区を毎週1回巡回しています。セール品も含めて当日の蛇田店と同じ価格にしており、スペースの関係で積みきれない商品については特注として承っています。1日平均約100名の利用者があり、被災地への買物支援として大変喜ばれています。

2012年3月より、せいきょう便2号車で気仙沼市、南三陸町の仮設住宅の巡回を開始し被災地支援を拡大しています。



せいきょう便でのお買物の様子



せいきょう便を待つメンバー

## 関連資料

### 自治体の物資要請に応えて

震災直後から自治体よりみやぎ生協に対し物資の要請があり、3月11日から5月まで宮城県を通じ8市9町に対し、約399万点を搬送しました。

### 石巻共同購入ステーション

石巻支部では近隣の仮設住宅に暮らす方々へのお買い物支援として、最大で週5回利用できる共同購入ステーションを支部施設内に開設しました。ステーションには地域の方々のふれあいの場となるよう喫茶スペースを設置し、コミュニティの場所としても活用していただいている。ステーションを利用されている方々は買い物だけでなく、支部職員との会話や、喫茶スペースでのご

近所さんとのふれあいを楽しみに足を運んでくださっています。



共同購入ステーションで注文商品のお渡し

### 夕食宅配弁当サービス

食事の準備やお買い物に困っている方々の暮らしを支援するため、夕食弁当の宅配サービスを開始しました。お届けするお弁当は管理栄養士の監修のもと、利用者

の健康を考えた、バランスのよいメニューとなっています。お弁当コースとおかずコースの2種類からお選びいただけ、利用者の皆さんからはとても喜ばれています。



仮設住宅へお弁当を配達

### 離島宅配の再開

震災前に配達を行っていた気仙沼大島で被災状況をヒヤリングし、ラジオ、懐中電灯、乾電池、カセットコンロ・ポンベなどの不足を把握することができました。石巻の網地島、田代島でも同様のニーズがありました。飲料水や即食系の支援物資の他に、乾電池、LED、手回し式充電ラジオ、ガスコンロ・ポンベなどをお見舞い品としてお届けしました。その後、塩釜市の離島でも個人商店が被災し買い物に困っているという情報が寄せられ、桂島、寒風沢島、野々島でも共同購入の配達を開始しました。



寒風沢島配達の様子

#### (1)自治体からみやぎ生協への要請分

| 要請先     | 搬送点数      | 主な内容(状況)  |
|---------|-----------|---|
| 石巻市     | 2,217,921 | 3/26から4/17まで、菓子パンかL.Lパンを連日56,000個搬送。その他、おにぎり、カップ麺、オムツ、第、乾電池、紳士・婦人肌着や炊き出し用の梅干、ふりかけ、塩など搬送。  |
| 仙台市     | 1,018,539 | 3/12から3月いっぱい、果物・飲料・菓子を中心搬送。3月下旬は連日菓子パンを5,000個から10,000個搬送。   |
| 宮城県     | 408,113   | 自衛隊活動のための要請が多く、詳細は以下のとおり。<br>①3/21自衛隊の炊き出し用調味料30品。<br>②3/28自衛隊ヶ所の洗剤・石鹼・除菌スプレー・入浴剤・リス・シャンプーなど。<br>③3/29自衛隊5旅団・師団のトイレ清掃用品10品。<br>④3/30市町村分のトイレ清掃用品。<br>⑤4/5自衛隊5旅団・師団の調味料35品。<br>宮城県警からのテント100張り。多賀城文化センターへの炊き出し材料(野菜・肉・調味料)10品など。 |
| 東松島市    | 150,487   | 3/18から4/2まで、連日おにぎり5000個搬送。その他、寸胴鍋、ひしゃく、乾電池、ゴミ袋など。   |
| 山元町     | 42,615    | 3/21から3/28まで、紳士・婦人肌着2,000から5,000個搬送。  |
| 七ヶ浜町    | 24,710    | 毛布、紳士・婦人肌着、水が中心。4月に入り、炊き出し材料(野菜・肉・調味料)などを搬送。  |
| 南三陸町    | 10,700    | 毛布、おにぎり。  |
| 女川町     | 50,135    | 3/19から4/2まで、連日おにぎり3,000個搬送。その他、ガスホバーベ、皿・お椀・箸セット2,000セットなど。  |
| 塩釜・多賀城市 | 32,018    | 水とパン。   |
| 気仙沼市    | 12,288    | 水。  |
| 亘理町     | 5,360     | 3/11発災直後のパン・水など。  |
| 加美町     | 100       | オムツ。  |
| 計       | 3,972,986 |   |

#### (2)自治体から近隣店舗 その他事業所への要請分

| 要請先   | 対応事業所           | 点数     | 主な内容(状況)                  |
|-------|-----------------|--------|---------------------------|
| 登米市   | 加賀野店            | 1,520  | スーパー、カップ麺、味噌、醤油など。        |
| 白石市   | 白石店             | 3,000  | カップヌードル、飲料品、生活用品。         |
| 塩釜消防署 | 利府店             | 797    | カップ麺、飲料、缶詰など。             |
| 利府町   | 利府店             | 246    | 菓子、ペーパー用品、菓子など。           |
| 大和町   | 大富店             | 171    | パン、飲料。                    |
| 亘理町   | 亘理店             | 1,552  | オムツ、ミルク、ナップキン、飲料、肌着、靴下など。 |
| 山元町   | 亘理店             | 403    | ティッシュ、オムツ、ナップキン、洗剤、ラバなど。  |
| 七ヶ浜町  | 大代店             | 1,695  | 米、パン、肌着、布団、靴下、ペーパー用品など。   |
| 多賀城市  | 多賀城店            | 5,000  | 飲料60万、食料品45万、衣料・生活用品80万。  |
| 富谷町   | アスクアラボ<br>みやぎ生協 | 740    | 水ボトル12L。                  |
| 計     |                 | 15,124 |                           |

#### (3)災害時の応急生活物資 供給協定締結自治体

2012.3.20現在

|    | 自治体名          | 締結日         |
|----|---------------|-------------|
| 1  | 仙台市           | 1996年3月29日  |
| 2  | 塩竈市           | 1997年1月24日  |
| 3  | 多賀城市          | 1997年1月24日  |
| 4  | 松島町           | 1997年1月24日  |
| 5  | 七ヶ浜町          | 1997年1月24日  |
| 6  | 利府町           | 1997年1月24日  |
| 7  | 大和町           | 1997年1月24日  |
| 8  | 大郷町           | 1997年1月24日  |
| 9  | 富谷町           | 1997年1月24日  |
| 10 | 大衡村           | 1997年1月24日  |
| 11 | 宮城県(県連が主体で締結) | 1997年4月16日  |
| 12 | 名取市           | 1997年9月2日   |
| 13 | 岩沼市           | 1997年9月2日   |
| 14 | 亘理町           | 1997年9月2日   |
| 15 | 山元町           | 1997年9月2日   |
| 16 | 石巻市           | 2004年1月6日   |
| 17 | 大崎市           | 2004年3月29日  |
| 18 | 登米市(町合併で再締結)  | 2005年7月29日  |
| 19 | 東松島市          | 2006年4月6日   |
| 20 | 白石市           | 2006年6月8日   |
| 21 | 加美町           | 2007年12月10日 |
| 22 | 南三陸町          | 2009年9月1日   |
|    | 気仙沼市          | 2010年4月15日  |

## 地域産業の復興支援

地域産業を支援するため商品展開・イベントなどに取組みました

### 食のみやぎ 復興ネットワーク

2011年7月、宮城県産消提携推進協議会の呼びかけで、震災被害からの復興を目指す団体の“交流の場”として、「食のみやぎ復興ネットワーク」が結成されました。現在182団体が参加し、各分野毎の復興プロジェクトの推進、毎月2回発行されるメールマガジンを通じた情報交換、参加団体の持つノウハウを使った被災地支援活動を行っています。

これらの活動を通じて、仙台の伝統作物「仙台白菜」、奇跡的に津波被害を免れた小麦粉で作った「ゆきちから饅頭」、県産大豆を使用した「豆乳おからクッキー」、県産小麦を使用した「あおばの恋ラーメン」などの商品開発や普及活動を行っています。

また、地元企業と協力した被災地の原材料使用や加工の実施にとどまらず、全国



食のみやぎ復興ネットワーク結成式

メーカーとタイアップした商品開発、売場作り、食べ方提案もあわせて行い復興への支援を推進しています。

### 食のみやぎ復興ネットワークからできた地域商品

#### 「あおばの恋」ラーメン（だい久製麺）

「あおばの恋」とは宮城県の奨励品種となっている小麦の品種です。「あおば」は収穫期の夏をイメージし、「恋」は消費者に愛されることを願って命名されました。県内で広く栽培されてきた「シラネコムギ」に比べて、麺に加工した際に粘りや弾力性・なめらかさに優れています。

数ヶ月に渡る試作を繰り返し、麺の粘りと弾力性が強く・なめらかで、独特の食感と風味を持つ麺にしあげました。宮城で収穫された小麦を使用して、ネットワークに参加する株式会社だい久製麺が製造しました。



#### 米粉生地のみたらし団子・みそだれ団子（大沼製菓）

食のみやぎ復興ネットワークからできた地域商品米粉生地のみたらし団子・みそだれ団子。県北の食材を使った和菓子プロジェクトで、県内の加工業者と菓子製造メーカーの震災からの復旧復興を支援する為に宮城県産原料を使用した団子を開発しました。

今回開発した団子のたれ餡には県北のヤマカノ醸造株式会社（登米市）の味噌・醤油を使用しました。もちりと歯切れのよい生地で甘じょっぱく仕上げた餡（あん）を包みました。ひとくち食べると団子の中からは餡がとろりと覗きます。程よい大きさの団子が8個入って258円です。

2月9日からみやぎ生協全店で取り扱いを開始しました。ネットワークに参加する大沼製菓株式会社（石巻）が製造しました。

#### 仙台白菜漬（ピックルスコーポレーション）

戦前、宮城の白菜は仙台白菜というブランド名で全国を席捲しました。食のみやぎ復興ネットワークに参加するJA全農みやぎ、みやぎ生協、明成高校、宮城宮農業高校は、この仙台白菜を復活させ、震災からの復興を目指す宮城のシンボルとして位置づけ、これを宮城県のみならず、全国にも発信し、普及していく”仙台白菜プロジェクト”をすすめました。

塩害に強い白菜の栽培で農家を経済的に支え、白菜の食べ方を広く普及することで仙台の伝統メニューを掘り起こし、紹介しました。ネットワークに参加するピックルスコーポレーションは白菜を使って昔懐かしい味漬けの漬物を商品化しました。



## 関連資料

### お取引様の支援

食の復興ネットワークを中心にお取引先様に協力を得て、被災地・被災店舗へ支援活動を行いました。

#### 被災地・被災店舗への取引先様支援企画一覧

| とき       | 取引先(敬称略)              | 企画                                       |
|----------|-----------------------|--|
| 3月12日(土) |                       |  |
| 3月13日(日) | ロッテ商事㈱                | 菓子の配布                                    |
| 3月14日(月) |                       |  |
| 4月12日(火) | 仙台中央青果卸㈱、<br>松印松浦青果㈱  | 市場まつり                                    |
| 4月16日(木) |                       |  |
| 4月19日(火) | 茨城県かとり農協、<br>仙台中央青果卸㈱ | 焼き芋のふるまい                                 |
| 4月19日(火) | 仙台中央青果卸㈱、<br>松印松浦青果㈱  | 市場まつり                                    |
| 4月29日(金) | 赤城乳業㈱                 | ガリガリ君と記念撮影&<br>無料スッカーブレゼント               |
| 4月30日(土) | 明治屋商事㈱、<br>モンテ物産㈱     | バスタ炊き出し                                  |
| 5月7日(土)  | 株宮果                   | ふるまい汁と市場まつり                              |
| 5月12日(木) | 亀田製菓㈱                 | お菓子のサンプリング                               |
| 5月15日(日) | 日本水産㈱                 | 焼きおにぎりの<br>キャラクター「焼きおに君」と<br>撮影会&無料がちばん。 |
| 5月20日(金) | エバラ食品工業㈱              | 料理教室                                     |
| 5月22日(日) | 明治屋商事㈱、<br>モンテ物産㈱     | バスタ炊き出し                                  |
| 5月28日(土) | 江崎グリコ㈱                | 着ぐるみカブすけ訪問                               |
| 5月29日(日) | ロッテ商事㈱                | 気持ち伝わるチョコ企画                              |
| 6月4日(土)  | ロッテ商事㈱                | コアラのマーチの<br>着ぐるみおよび菓子配布                  |
| 6月5日(日)  | 株不二家                  | ベビちゃんボコちゃん<br>着ぐるみイベント                   |
| 6月10日(金) | ロッテ商事㈱                | 気持ち伝わるチョコ企画                              |
| 6月11日(土) | 仙台中央青果卸㈱、<br>松印松浦青果㈱  | 市場まつり                                    |
| 6月11日(土) | JAかしまなだ、株宮果           | メロンを中心に果物・<br>野菜の即売会                     |
| 6月11日(土) | 株河北仙販                 | 東日本大震災写真展                                |
| 6月12日(日) | JAかしまなだ、株宮果           | メロンを中心に果物・<br>野菜の即売会                     |
| 6月16日(木) | エバラ食品工業㈱              | 店頭で焼き肉<br>500人無料試食                       |
| 6月17日(木) |                       |  |
| 6月18日(土) |                       |  |
| 6月18日(土) | 株河北仙販                 | 東日本大震災写真展                                |
| 6月19日(日) | カルビー㈱                 | 着ぐるみボテくんと抽選会                             |
| 6月下旬     | 森永製菓㈱                 | キヨロちゃんギッズ<br>プレゼントセール                    |
| 6月20日(月) | 亀田製菓㈱                 | お菓子のサンプリング                               |
| 6月24日(金) | キリンビバレッジ㈱             | 店頭イベントと試飲                                |
| 6月25日(土) | JA新潟みらい、株宮果           | 1,000人鍋、<br>スイカのふるまい                     |
| 6月25日(土) | カルビー㈱                 | 着ぐるみボテくんと抽選会                             |
| 6月25日(土) | JAあまるめ、生協共立社          | 餅づきデモン<br>ストレーションとおふるまい                  |
| 6月30日(木) | 大鵬菓品工業㈱               | チオビタドリンク<br>サンプル提供                       |
| 6月30日(木) | 大正製菓                  | 栄養ドリンク2,800本<br>プレゼント                    |
| 6月30日(木) | エバラ食品工業               | 料理教室                                     |
| 7月1日(金)  | 武田薬品                  | アリナミンVドリンク提供                             |
| 7月1日(金)  | ゼリア新薬工業               | 栄養ドリンク提供                                 |
| 7月2日(土)  | 田辺三菱製薬                | 栄養ドリンク提供                                 |
| 7月2日(土)  | カルビス株式会社              | 試飲イベント                                   |
| 7月2日(土)  | 茨城常総ひかり農協             | ゆでとうもろこしいベント                             |
| 7月2日(土)  | 仙台中央青果卸(株)<br>松浦青果    |  |
| 7月2日(土)  | 森永製菓(株)仙台支店           | キヨロちゃん着ぐるみショー                            |
| 7月2日(土)  | 大王製紙                  | マギー審司の<br>マジックショー                        |
| 7月7日(木)  | (株)伊藤園                | お茶の愉しみ方セミナー                              |
| 7月9日(土)  | 株式会社明治                | ピカチュウ着ぐるみ<br>ルーレットでプレゼント                 |
| 7月10日(日) | 株式会社明治                | ガールおじさん着ぐるみ<br>景品プレゼント                   |

次ページへ←→

## がんばろう東北商品

地域のメーカー生産者とともに「がんばろう東北(みやぎ)、力を合わせて復興を」として、復興応援留め型商品を109品目開発・供給しました。

全国のメーカーの協賛を得て「がんばろう東北、全国協賛商品」を77品目開発・供給しました。

被災したメーカー・工場の商品(志田金

商品等)を積極的に取り扱いました。取り扱いにあたっては、「支え合おう、宮城・東北の生産品」POPを付けて工場が復旧したことをお知らせしました。



## 地域復興応援イベント

被災地域の生協店舗を使って、被災した生産者を励ます取り組みやネットワーク参加団体による「地域を励ますふるまい企画」を行いました。震災後、のべ181団体が147回開催しました。12年3月には被災地や仮設住宅に隣接するみやぎ生協10店舗で重点的に取り組み、復旧復興にむけて懸命に努力されている方々に、24のネットワーク参加団体が44回の振る舞い企画を実施しました。

### 雄勝ウニまつり

石巻市雄勝(旧雄勝町)では、津波被害を受け、毎年7月に開催していた「雄勝ウニまつり」も中止となりました。その名物企画の復活を望む声に応えて7月18日(この日は海の日)に県漁連雄勝町東部支所船越支部の皆さんと、みやぎ生協石巻大橋店の店頭でウニまつりを開催しました。当日は開始前から行列が出来、準備した約1トンのウニはあっという間に完売しました。施設や漁場の復旧にはまだまだ時間がかかりますが、それまでの間、様々な取り組みで生産者を支えていきます。

### ふるまい企画

震災で大きな被害を受けた地域のみやぎ生協店舗や応急仮設住宅の周辺に位置するみやぎ生協店舗を使用して、復旧復興にむけて懸命に努力されている方々を励まし、勇気づける「ふるまい企画」を実施しました。食のみやぎ復興ネットワークに参加する団体がそれぞれアイディアを持ち寄り、情報交換し合いながら、自社商品と地場の水産加工品を使ったおでん、仙台白菜のシチュー、めぐみ野米を使ったカレーライス、揚げたての天丼等の振る舞いや、着ぐるみを使った撮影会とお菓子のつかみ取りなどが行われました。



3月11日 明星食品(石巻大橋店)

### 生活用品サンプルセット配布

応急仮設住宅で生活されている方が多くいらっしゃる地域のみやぎ生協店舗を使用して、携帯カイロ、シャンプー、入浴剤、歯磨き粉などの生活用品のサンプルを配布しました。

## コープこうべの野菜販売

生活協同組合コープこうべは、5回にわたり、みやぎ生協を通して仕入れた宮城県産の野菜を供給する「みやぎ生協“絆”フェア」を店舗で開催しました。これは、みやぎ生協が提携する生産地の農産物をコープこうべで販売することで、消費を通して被災生産地を応援しようという生協間の“絆”によって実現した取り組みです。販売された農産物はキュウリ、ほうれん草、長ネギ、小ネギ、トマト、なす、キャベツ、みず菜、小松菜、ピーマン、仙台白菜、せり、春菊、雪菜、



コープこうべでの「絆フェア」



コープこうべでの「絆フェア」

曲がりネギ、ミニトマト、長いも、ほうれん草、つぼみ菜、糸みつば、フルーツトマト、ベビーリーフなど20種類を越え、納品金額は1,400万円超となりました。第4回では食のみやぎ復興ネットワークで取り組んだ「仙台白菜」を

販売しました。コープこうべの組合員からは、「直接支援できることは少ない。ささやかだけど、力になれるのはうれしい」「被災地の商品を買うことが支援につながれば」などの声が聞かれました。

## めぐみ野(産直)生産者への職員ボランティア

職員と全国の生協からの支援も受けて、震災で被害のあっためぐみ野生産者の復旧を応援するボランティア活動をすすめました。職員によるめぐみ野石巻きゅうり生産者のハウスのガレキや泥の片付け作業と宮城県漁協志津川支所の養殖施設用土

壊づくりへの支援作業を合わせて15回、延べ201名の参加で行い、生産再開への支援を行いました。また、全国の生協の产地支援活動が宮城県漁協志津川支所を中心に取り組まれ、16回延べ413名が参加しました。生産者からは「生協とお付き合



いして良かった」「全国の生協との深い絆に驚かされた」等、感謝されています。宮城県漁協志津川支所の復興応援として、全国の生協・お取引先様の協力で、漁業用コンテナ・トラック・フォークリフト・事務用品等を寄贈しました。



めぐみ野生産者への復旧ボランティア活動

被災地・被災店舗への取引先支援企画一覧

| と き             | 取引先(敬称略)                          | 企 画                                       |
|-----------------|-----------------------------------|---|
| 7月10日(日)        | ホクト                               | ぶなびー 着ぐるみイベント                             |
| 7月14日(木)        | (株)伊藤園                            | お茶の愉しみ方セミナー                               |
| 7月15日(金)        | ハウス食品、キリンビール、仙印、ベジドーム、宮城県         | カレーのふるまいで 宮城県産品をアピール                      |
| 7月18日(月)        | 宮城県漁協雄勝町東部支所                      | 津波被害で開催を見合わせていた 雄勝東部の「に祭り」を、生協店舗の場所を提供し開催 |
| 7月21日(木)        | マルハニチロ                            | 被災者応援企画としてのお料理教室                          |
| 7月21日(木)        | (株)伊藤園                            | お茶の愉しみ方セミナー                               |
| 7月23日(土)        | 守屋青果                              | 市場祭り                                      |
| 7月27日(水)        | 亀田製菓(株)                           | お菓子のサンプリング                                |
| 7月28日(木)        | (株)伊藤園                            | お茶の愉しみ方セミナー                               |
| 7月30日(土)        | 石巻青果 矢本今朝どり生産者                    | ゆでたごとろろろこしイベント                            |
| 8月              | 凸版印刷株式会社                          | カレンダープレゼント                                |
| 8月6日(土)         | 亀田製菓(株)                           | お菓子のサンプリング                                |
| 8月10日(水)        | ホクト                               | 楽天ご招待                                     |
| 8月12日(金)        | ホクト                               | 楽天ご招待                                     |
| 8月19日(金)        | ホクト、ミツカン、カゴメ、仙台中央青果卸(株)           | きのこを使った料理教室                               |
| 8月20日(土)        | 亀田製菓(株)                           | お菓子のサンプリング                                |
| 8月27日(土)        | ミツカン                              | いもに鍋500食の振る舞い                             |
| 9月上旬            | 白元                                | 入浴剤提供                                     |
| 9月10日(土)        | エバラ食品工業                           | 親子でバーベキュー大会IN吹上高原(大崎市)                    |
| 9月25日(日)        | クリコ                               | ラジオ公開生放送とカレーの振る舞い                         |
| 9月25日(日)        | ハウス食品(株)、ペガルタ仙台                   | 食育ツアーリ                                    |
| 10月1日(土)        | 岩塚製菓(株)                           | 揚げたて米菓の実演販売                               |
| 10月2日(日)        | ブルドッグソース                          | お好み焼きの振る舞い                                |
| 10月2日(日)        | 宮城テレビ放送、ライオン                      | バスツアー                                     |
| 10月16日(日)       | クラシエフーズ株式会社                       | 地域お菓子の体験教室                                |
| 10月20日(木)       | 味の素                               | 味の素の冷凍食品の「ギョーザ」を使用した「ギョーザ鍋」の振る舞い          |
| 10月23日(日)       | クリコ                               | 味の素の「ギョーザ」を使用した「ギョーザ鍋」の振る舞い               |
| 10月23日(日)       | サンスター                             | ミッフィーミュージカル                               |
| 10月27日(木)       | クラシエフーズ株式会社                       | 地域お菓子の体験教室                                |
| 10月29日(土)       | 不二家                               | ベコちゃん撮影会                                  |
| 11月3日(水)        | JA全農みやぎ、味の素、明成高校その他               | 「仙台白菜」デビューイベント                            |
| 11月3日(水)        | 大塚食品株式会社、バーライス宮城                  | カレーライス振る舞い企画                              |
| 11月13日(日)       | Jオイルミルズ                           | おいしい「えび天」試食                               |
| 11月17日(木)       | ハウス食品(株)                          | 大鍋の振る舞い                                   |
| 11月25日(金)       | (株)不二家                            | ベコちゃん撮影会                                  |
| 11月26日(土)       | カゴメ(株)                            | 大鍋の振る舞い                                   |
| 12月18日(日)       | 江崎クリコ(株)                          | カレーの振る舞い                                  |
| 1月13日(金)        | オタフクソース(株)                        | お好み焼き キャバパンカ企画                            |
| 1月14日(土)        | ブルドックソース(株)                       | 焼きそば、お好み焼きの振る舞い                           |
| 1月15日(日)        | (株)あらた、クラシエフーズ(株)、クラシエホームプロダクツ(株) | カップしるこの試飲と入浴剤の配布                          |
| 1月21日(土)        | キッコーマン(株)                         | うどん、おにぎり、トマトジュースの振る舞い                     |
| 2月4日(土)         | 宮城県消費生活センター、東北放送                  | 消費生活相談会                                   |
| 2月5日(日)         | (株)柏圭(カシケイ)                       | 東日本応援ウェブギャラリー                             |
| 2月4日(土)～3月4日(日) | (株)あらた                            | 試供品セットの配布                                 |
| 2月7日(火)         | 株式会社桃屋                            | 仙台白菜と鶏肉の鍋の試食提供                            |
| 2月12日(日)        | (株)あらた                            | 試供品セットの配布                                 |
| 2月14日(火)        | フジコ(株)                            | どろろ昆布鍋の振る舞い                               |
| 2月21日(火)        | カルビス(株)                           | ホットカルビスの振る舞い                              |
| 2月23日(木)        | カルビス(株)                           | ホットカルビスの振る舞い                              |
| 3月21日(金)        | カルビス(株)                           | ひな祭りカルビス試飲&プレゼント                          |
| 3月3日(土)         | カルビス(株)                           | ひな祭りカルビス試飲&プレゼント                          |

## 災害に強い生協づくり

東日本大震災の教訓をいかし、災害に強いみやぎ生協をつくる為取組みました

### 事業継続計画

みやぎ生協では大規模災害(地震に限らず)が発生した際の基本的使命を以下の2つとしています。

- 事業を可能な限り継続すること。また中止した場合はできる限り早く再開し、商品を必要としている地域の方に提供を行うことにより、社会的インフラとしての責任を果たすこと。
- 行政からの要請に応え、避難所などで必要としている物資をお届けすることにより、被災者の生活支援に貢献すること。

### 新たなみやぎ生協づくり

みやぎ生協は、2011年3月11日の東日本大震災で16名の職員が犠牲になり、設立以来蓄積してきた資産を失い、大きなマイナスからの再出発を余儀なくされました。しかし、私たちは、多くのものを失った一方で、震災の中での数え切れない助け合い、ひととひととのつながりの素晴らしさ、連帯の素晴らしさ、生協職員の献身的な努力を得ることもできました。

2011年度、みやぎ生協は、大地震のみではなく、インフラ(電気、水道、ガス)がストップ、物流機能がストップ、燃料不足、施設被害が甚大といった今回と同様の被害を及ぼす災害を想定、復旧から新たなるみやぎ生協づくりとして「もの」と「こと」の拡充に取り組んできました。

この2つの使命を確実に履行するため、チームを立ち上げ、「こと」としてBCP(事業継続計画)を策定しました。大規模災害時の方針、体制等仔細にわたり具体化、職員全員で共有化しています。

また、みやぎ生協単独ではなく、他生協や取引先や様々な団体(サプライヤー)との連携で対応することを視野に入れ、サンネット各会員生協や日本生協連との連携も組み込んでいます。

大規模災害に備えたインフラ整備として、自家発電装置、MCA無線、衛星携帯電話、ガソリンスタンドの設置等、「もの」についても検討、拡充していきます。



3月3日以降もさまざまな取り組みからの支援をいただきました。ありがとうございました。

# 01

第1章  
食品の安全・安心の取り組み

## 食品の安全を 確保する仕組みを さらに確かなものへ 取り組みを 強化しています

### みやぎ生協 食品の安全・安心に関する基本方針

みやぎ生協は、メンバー（組合員）が安心して商品を利用できる生協づくりを進めます。取引先および生産者と共同し、取り扱う食品の安全管理のレベルを向上させ、食に関するメンバーの願いの実現を目指します。

そのために、以下の基本方針に基づく取組みを進めます。

1. 取引先、生産者、メンバーとコミュニケーションをはかり、生産・仕入れ・製造・加工・メンバーへの供給の各過程を通して、食品の安全性を高めます。
  - (1) 食品の安全マネジメントシステムで適切な課題・目標を設定して実行し、その進捗状況を検証し、定期的に見直し、継続的な改善ができる仕組みをより確かなものにし、運用します。
  - (2) 重大商品事故の兆候を見逃さない仕組みを向上させるとともに、万が一重大商品事故が発生したときの被害を最小にするため、対応方針・手順を明確にし、訓練します。
  - (3) 安全な食品をお届けするために必要な職員の力量を高めるために、教育・啓発を計画的に行います。
2. 食品の安全や衛生に関する法令・規制を順守するとともに、必要に応じてそれらに基づく内部ルールを制定し管理を進めます。
3. メンバーと産直生産者の交流を活発にし、「顔とくらしの見える産直」活動の輪を広めます。
4. 県内産・国内産食品の取り扱い拡大と食料自給率の向上に寄与する活動を進めます。
5. 食に関する学習・体験の活動にメンバーや他団体と協力して取り組み、安心できる食生活の実現に貢献します。

この食品の安全に関する基本方針は、生協内外に公表します。

2011年4月22日 みやぎ生活協同組合

### 放射性物質問題への対応

#### 放射能検査

みやぎ生協は、「めぐみ野」（産直品）生産者と共同で、放射性物質対策に取り組み、その一環として、放射性物質の自主的なモニタリング検査を実施し、ホームページで報告しています。2011年度の検査は、約580検体でした（函館大沼牛の300検体を含む）。

また、全国の生協や日本生協連と協力して、家庭の食事に含まれる放射性物質の量に関する調査に取り組みました。

全国の生協では約30,000件の自主検査が実施され、日本生協連CO・OP商品のメーカー430社からも検査計画や検査の内容について、日本生協連へ報告しています。



養豚場の放射能調査

#### メンバー講演会

「放射性物質の基礎知識～わたしたちの食は大丈夫?～」を開催しました

NPO法人食品保健科学情報交流協議会理事長 関澤純先生をお招きして、10月から12月にかけて、石巻・仙台・登米・岩沼・大崎の県内5箇所でみやぎ生協メンバー学習会を開催し、500人を超えるメンバーが参加しました。

会場の参加者からは「わかりやすく話していただき、数値の意味が理解できた」「自然放射線や生物学的半減期を知って不安が軽くなった」などの意見がありました。また、「家庭菜園の野菜は食べられるのか」「魚は大丈夫か」「子どもが心配」などの質問が出され、先生がひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。



放射能学習会

◆食品の安全に関する詳細はこちらから <http://www2.miyagi.coop/about/radiation/>

## 「みやぎ生協食品安全マネジメントシステム」の運用を開始し改善を進めています

### 食品安全マネジメントシステム

- ①各部署が「食品の安全・安心基本方針」に基いた目標と、それを実現するための教育・実施・検証の計画を立て、毎月進捗管理をして活動を進めています。
- ②内部監査や外部検査の結果などもふまえて、取組みの有効性を評価します。有効でないと評価された活動は、原因を明らかにして対策を打つことで改善をしていきます。

### 2011年度の改善例

- ①店舗事業では、商品のラベル表示間違いを無くすことに取り組み、前年の約半分まで減らしました。
- ②(株)コープフーズ東北では、生産品のラベル表示間違いと商品への毛髪混入削減に取り組み、前年の半分以下に減らしました。
- ③新しく事業を始めた(株)コープ総合サービス・水事業センター(アクアクララみやぎ生協)では、内部監査を繰り返して職員の衛生教育が根づいていることを確認しました。

## 重大商品事故管理システム

### 商品事故対策室

重大商品事故の兆候を見逃さないため、お申し出の対応や判断に誤りが無いか、事故の原因と再発防止策がしっかりと行われているかなど、最後までしっかりと監視を行っています。

2011年度も、重篤な人体被害などの重大商品事故に発展した案件はありませんでした。



商品事故対策室

### 商品事故に関する監視と改善

東北6県の生協と商品事故の情報を共有し、各生協の担当者が学習を重ねることで監視を強めています。

また、商品事故対策室から回答者へ定期的に情報発信を行うことで、メンバーさんに回答するまでかかる平均日数を適切に維持する

ことが出来ました。農産品などでは、同一商品でお申し出の多い商品の事故情報を適宜商品担当者に発信することで、改善にもつなげています。

## 品質管理・商品検査の取組み (品質管理室・商品検査センター)

メンバーに安心して商品を利用していただくために、食中毒の原因となる微生物検査や「めぐみ野」野菜(産直野菜)を中心とした残留農薬の検査等を行い、結果を衛生改善や栽培指導に役立てています。

### 1)微生物検査は、8,807検体おこないました。

| 分野  | 共同購入配達商品 | 店舗調理加工商品 | 店舗一般メーカー商品(テナント含む) | COOP商品<br>コープフーズ<br>東北生産品 | 取扱事前検査など | 総検体数  |
|-----|----------|----------|--------------------|---------------------------|----------|-------|
| 検体数 | 1,567    | 2,614    | 1,875              | 197                       | 2,554    | 8,807 |

検査結果から、取り扱い停止の対応を行った商品はありませんでした。

### 2)残留農薬検査は、317検体おこないました。

| 分野  | 産直野菜 | 産直米 | 提携品 | 一般品 | 総検体数 |
|-----|------|-----|-----|-----|------|
| 検体数 | 286  | 14  | 0   | 17  | 317  |

検査結果で、2品ほうれん草で基準を超える検出があり、行政への報告と回収をしました。

◆食品の安全に関する詳細はこちらから <http://www2.miyagi.coop/about/safety/>

### 3)海外製造加工食品の残留農薬検査

今年度は、共同購入および店舗で取り扱っている海外製造加工食品のうち、リスクに応じた商品の選定を行い、23検体について外部検査機関で実施しました。その結果、いずれも法基準内であることを確認しました。



商品検査室

### 4) COOP商品の原材料の確認

みやぎ生協が指定した原材料で、検査で検証可能な38品目のCOOP商品について、外部検査機関で検査を実施しました。その結果、適切に使用されていることを確認しました。



## みやぎ生協の「産直」が産消直結「めぐみ野」にかわりました。

41年前に、みやぎ生協の前進の「宮城県民生協」の組合員と生産者の方々が「顔とくらしの見える産直」を始めました。生産者と消費者の食に対する思いを直接結ぶことで、共に幸せを分かち合う「産消直結」への取組みです。これが「産直」の始まりです。

さらに、未来へ向けて新たな一步を踏み出すために、この取り組みから生まれた商品に「めぐみ野」という名前を付けました。商品パッケージのイメージを全商品で統一し、演出物も一新しました。みやぎ生協のホームページでも紹介していますので、是非ご覧ください。「めぐみ野」には、キャラクターが登場します。生産者の、げんさんと奥さんのサトさん、みのり家は消費者家族です。

東日本大震災で破壊された地域コミュニティの再生のために、生産者と消費者が手を取り合って一次産業の復興を目指すために

も「めぐみ野」を活性化させます。

産直の三つの基準①産地と生産者が明確 ②生産方法が明確 ③生産者と消費者の交流は「めぐみ野」にもそのまま継承しています。

### 「めぐみ野」3つの基準

- ①だれ(生産者)がどこ(産地)で作ったかがわかること。
- ②どのように(栽培・飼育)作ったかがわかること。
- ③生産者とみやぎ生協のメンバーの交流があること。

めぐみ野

# PICK UP

めぐみ野  
商品のご紹介

## めぐみ野の商品は年間45億円以上供給されています

めぐみ野の商品は、果物では「いちご」「梨」「桃」「りんご」、野菜では「トマト」「きゅうり」などたくさんの種類があります。水産物では「わかめ」「銀鮭」「生カキ」など、お肉では「豚肉」「鶏肉」「牛肉」があります。お米では、「ひとめぼれ」「ささにしき」「こしひかり」などがあり、すべて農薬と化学肥料の使用を一般の半分以下にしています。その他、卵、牛乳、梅干、納豆などがあります。



### ◎めぐみ野 牛乳

(角田丸森産牛乳)(鳴子上原酪農牛乳)

地域と生産者を特定した牛乳で、食べるエサを特に吟味しています。

私たちは福島第一原発事故以来、自家製の牧草を食べさせないようにしました。定期的に放射能の検査をしていますので美味しいと安全、安心な私たちの牛乳をご利用ください。



角田丸森牛乳  
生産組合  
渡辺 博



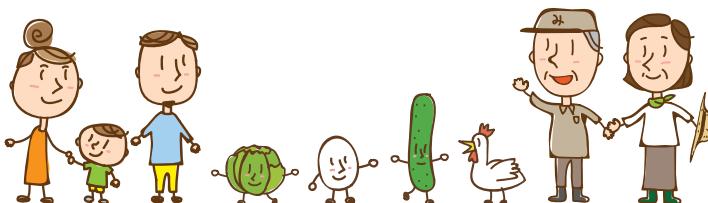
### ◎めぐみ野 梅干

昔ながらの製法で、原料は梅・しそ・食塩のみです。

地元、角田市で取れた梅を、ひと粒ひと粒、手返ししながら、三日三晩以上の土用干しをしています。漬け込んでから半年以上熟成させて出荷しています。原料の梅も放射能の検査をしてから漬け込んでいますし、出来上がりの製品の検査もしましたので安心してご利用ください。



屋根のかかったビニールハウスの中で土用干しをします。



### ◎めぐみ野 米

農薬・化学肥料の使用を慣行栽培の半分以下に抑えています。おいしさをとことん追求するために使っている肥料も生産者で研究しながら改良し同じものを使っています。

めぐみ野のお米の生産者は約千人おりますが、全量を宮城県が管理している「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」の特別栽培認証を取得しています。栽培だけでなく、おいしさが私たちの自慢です。



みやぎ産直米生産者協議会役員一同





## みやぎ生協の産消提携活動

みやぎ生協の「めぐみ野」の事業と運動は、生産者と消費者の共通の願いを実現するためには、次のような基本的な立場で提携活動を進めています。

- ①健全な日本型食生活の確立と食料の安全性を高めます。
- ②食料自給率の向上をめざし、日本と宮城県の農・水・畜産業とその加工業、及び生産者の暮らしを守る国民合意の運動を進めます。
- ③産消提携活動に積極的に取り組みながら、地域経済の活性化と文化の発展、自然環境の保全に寄与します。



### ◎めぐみ野 桃太郎トマト

宮城県の特別栽培の認証を取得しています。甘さとコクが定評です。



### ◎めぐみ野 いちご

宮城県の特別栽培の認証を取得し農薬と化学肥料は一般的の半分以下です。甘さと酸味が程よく調和した美味しさです。



### ◎めぐみ野 ふるさと豚

黒豚と白豚をかけ合わせ、黒豚由来のおいしさを、お求めやすい価格でお届けしています。



### ◎めぐみ野 豚

宮城県開発の「しもふりレッド」と白豚をかけ合わせで、やわらかくクセのない美味しさになっています。



### ◎めぐみ野 若鶏

エサは全飼育期間を通して抗生素や合成抗菌剤を加えていません。めぐみ野の豚、鶏、採卵鶏には国産の米をエサに混ぜています。



### ◎めぐみ野 納豆 (すずはのか／あやこがね)

小粒の「すずはのか」、大粒の「あやこがね」があります。メンバーと一緒に開発した納豆です。



### ◎めぐみ野 平飼い卵

自由に動き回れる環境で飼育しています。良く運動しているので、自分がぶっくりとしたおいしい卵です。

## 第30回宮城県めぐみ野交流集会

第30回宮城県めぐみ野交流集会を、12月7日(水)仙台国際センターにて開催しました。メンバー・生産者・産消提携団体・お取引様・生協職員の1,259人が参加し、震災からの復旧・復興の取組みなどについて交流しました。

展示ホールでは、「食のみやぎ復興ネットワーク」38団体からの展示と、試食品の提供があり、大盛況でした。

### 「TPP(環太平洋戦略的連携協定) 参加反対

「TPP交渉」への日本の参加は、国内農林水産業の生産高が4兆5千億円減少、食料自給率は14%に低下し、農林水産業は壊滅的な打撃を受けます。また、投資・サービス・医療・地方自治体・地方経済など広範囲な分野に影響がおよぶものです。東北6県の生協連とともに、みやぎ生協も参加に反対しています。



めぐみ野交流集会全体会



明成高校「白菜プロジェクト」

「TPP」への参加に反対し、宮城県協同組合こんわ会が呼びかけた「TPP交渉に反対する署名」をメンバー・職員が取り組み、25,505筆を集めるとともに学習を行い、他の団体と協力しながら運動をすすめました。メンバーの学習会をエリアで開催し、TPP交渉反対の理解が広がりました。

## 顔とくらしの見える産直をさらに広げました

### メンバー交流、学習、普及・支援活動

震災で被害のあった「めぐみ野」(産直)生産者への応援の取り組みを「めぐみ野生産者2,500人と取り組む、みやぎの復興」を合言葉にすすめました。

9月21日から、みやぎ生協の「産直」が「産消直結 めぐみ野」ブランドに変わり、「めぐみ野」品の特徴をお知らせし「めぐみ野」品の利用をすすめました。「秋のこ～ぶつどい」と毎回のこ～ぶ委員会でのお知らせ、エイブルでの広報を行い、「めぐみ野」活動への理解を継続的に広げました。

生産者を支援する募金として「めぐみ野(産直)生産者支援募金」3,341,341円を7団体に贈呈しました。



「わが家の味噌作り体験」で白菜の収穫

### 米・田植え・稲刈り体験を通して 先人たちの苦労を実感

震災の影響で、田植え体験・田んぼの生き物調査は実施できませんでした。ようやく9月から交流活動が開始でき10月15日稲刈り体験を16名で実施しました。地震による停電や燃料の不足で、育苗ハウスでは暖房確保ができなかつたこと、地震によって用排水路やポンプ場の破損等によって農業用水の確保ができなかつたことなど、生産者の話から苦労しながら米作りだったことを実感しました。



「めぐみ野米」稲刈り体験会

### 今までもこれからも

#### 「めぐみ野」(産直) 牛乳タオル1本運動

鳴子上原酪農組合へタオルを贈呈



1991年から取り組んでいる「めぐみ野牛乳タオル1本運動」は、2011年度は鳴子上原酪農組合と角田丸森牛乳生産者に、8,780本のタオルをお届けすることができました。

また、鳴子上原酪農組合は、全国環境保全型農業推進会議が主催する2011年度「第17回環境保全型農業推進コンクール」において優秀賞を受賞しました。飼料自給率向上の実践、牧草・飼料トウモロコシ栽培の農薬使用の削減などの取り組みが全国的に高く評価されました。

### 地産地消のお取引様学習会

秋のこ～ぶのつどいでは、みやぎ生協の「産直」が産消直結「めぐみ野」にかわったことから「めぐみ野生産者2,500人と取り組む、みやぎの復興」をお知らせしました。生産者・地元お取引様の学習会は、24回521名が参加して「めぐみ野」品のこだわり、特徴をお知らせしました。

### 「めぐみ野」(産直)学習会・学習塾

震災の影響があり「めぐみ野」(産直)学習会・学習塾は9月から実施しました。「めぐみ野」学習塾は12回、「めぐみ野」ミニ交流会は6回、産地研修会は、6回実施しました。

メンバー・生協担当者が一緒になって「めぐみ野」品の生産方法・商品の特徴を学習と試食などを通して理解を深めました。

### 「めぐみ野」生産者への支援活動

職員と全国の生協からの支援も受け、震災で被害があった「めぐみ野」生産者の復旧を応援するボランティア活動をすすめました。職員による「めぐみ野」きゅうり生産者と宮城県漁協志津川支所への支援作業を合わせて14回、延べ178名の参加で行い、再興への支援を行いました。

宮城県漁協志津川支所を中心に、全国の生協の産地支援活動が16回、延べ352名の参加で取り組まれ、生産者から生協とお付き合いして良かったと感謝されています。

## 02

第2章  
メンバー&社会貢献活動

人と人が  
ふれあう機会をつくり  
自主的でいきいきと  
したメンバー（組合員）  
活動を進めています



こ～ぶのつどい

### メンバー（組合員）活動

#### 「こ～ぶのつどい」では参加者と一緒に 楽しいひとときを過ごせました

被災されたメンバーの参加をはかること、コミュニティづくりから  
応急仮設住宅の集会所10ヶ所での開催をすることができました。また、多くの方の参加をはかるために地域の集会場（131会場）での  
開催も広がり、開催会場数は目標を上回る416会場での開催となりました。

#### こ～ぶ委員会を8月から再開し エリアのメンバー活動の再生を すすめました

震災の影響で委員会の確立が困難な地域もある中で、委員会  
開催は前年より減少しましたが、324委員会、2,908名の活動にす  
ることことができました。多くのエリアで様々な団体と一緒に、「ふれあい  
喫茶」などの被災地域を応援する活動や、事業を応援する多様な  
活動が取り組まれました。

◆メンバー活動の詳細はこちらからご覧になれます。  
<http://www2.miyagi.coop/member/>

お取引先様の企業にご協力いただき、メンバー対象に商品  
学習会や工場・施設見学を実施しております。震災後も多くの  
メンバーが参加し、生協で扱っている商品について楽しく学習  
することができました。

#### 2011年度 見学会にご協力いただいたお取引先様（順不同・敬称略）

●株ナリス化粧品 ●キリンビール仙台工場 ●株クラブコスメチックス ●東北森永工場

#### 2011年度 学習会にご協力いただいたお取引先様（順不同・敬称略）

●三菱食品(株) ●サッポロビール(株) ●小川珈琲(株) ●服部コーヒーフーズ(株) ●UCC上島珈琲(株)  
●森永製菓(株) ●雪印メグミルク(株) ●株明治 ●カゴメ(株) ●大塚製薬(株) ●ユウキ食品(株)  
●フジコ株 ●太子食品工業(株) ●株みずこそコーポレーション ●旭松食品(株)  
●日清オイリオグループ(株) ●株ナリス化粧品 ●伊那食品工業(株) ●日本ハム東販売(株)  
●石井食品(株) ●エバラ食品工業(株) ●オタフクソース(株) ●ブルドックソース(株)  
●キッコーマン食品(株) ●ハウス食品(株) ●エスビー食品(株) ●株クラブコスメチックス ●ロッテ商事(株)  
●株ボッカコーポレーション ●ホクト(株) ●キリンビバレッジ(株) ●株ジェーシーコムサ  
●衛(マック)プランニング ●株マルキン ●株伊藤園 ●カタギ食品(株) ●グリコ乳業(株)  
●サンスター(株) ●カルピス(株) ●日本水産(株) ●味の素冷凍食品(株) ●イトアント(株)(大阪王将)  
●ハラダ製茶(株) ●株パールエース ●株ヤマダフーズ ●株ミツカン ●キユーピー(株)  
●アサヒ飲料(株) ●株仙台水産 ●双日コスメティックス(株) ●クラシエ販売(株)  
●株日専連ライフサービス ●仲商事(株) ●丸美屋食品工業(株) ●森永乳業(株)  
●東北電力(株)石巻営業所 ●株マルハニチロ食品

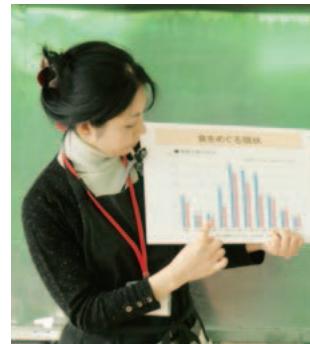
#### こ～ぶ委員会、こ～ぶのつどい、はん会

| 項目                                   | 2010年度 | 2011年度 |
|--------------------------------------|--------|--------|
| こ～ぶ<br>委員会の数                         | 348    | 324    |
| 委員会<br>委員人数(人)                       | 3,177  | 2,908  |
| こ～ぶ<br>の<br>つどい<br>初夏のこ～ぶのつどい参加人数(人) | 12,454 | 開催せず   |
| 秋のこ～ぶのつどい参加人数(人)                     | 13,116 | 11,518 |
| はん会<br>紫陽花はん会参加人数(人)                 | 7,170  | 開催せず   |
| 秋桜はん会参加人数(人)                         | 7,393  | 5,715  |

## 食の活動と子育て支援

### 食の安全と食育、食生活の向上に取り組んでいます

メンバーの「安全・安心な食生活を送りたい」という願いをもとに、よりよい食の環境づくりをすすめています。「食生活提案」では、「食」を大事に健康づくりをすすめています」として、4つの基本テーマ「①楽しく、おいしく食べよう。②バランスよく食べよう。③食に興味を持とう。④食の安全に関心を持とう。」を軸に活動をすすめてきました。



食生活提案紙芝居



### たべるたいせつセミナー

災害・緊急時・被災地で役にたつバランスの良い簡単メニューをテーマに、気仙沼・蛇田店・大代店・亘理店・ウィズの5会場で開催し、92名のメンバーが参加しました。

◆2011年度の5ADAY(ファイブアディ)食育体験ツアー開催の様子は下記のURLからご覧下さい。  
<http://www2.miyagi.coop/member/shokukku/5aday/list/>

### 5ADAY(ファイブアディ) 食育体験ツアー

野菜と果物の摂取の大切さを店舗売場を教室にして学習する「5ADAY食育体験ツアー」は、宮城県内14の小学校で33回実施していただき1,038名の児童が参加しました。

### 食のかたりべ

みやぎ生協の食の政策をメンバーが学び、学んだことをほかのメンバーに伝える「食のかたりべ」は47名が登録し、宮城県内各地で活動しました。自作のペーパーサートを使用して人形劇を行なうなど、各自が工夫をこらした活動が展開されました。

## 子育て世代を応援

### 子育てひろば

震災後、遊ぶ場をなくした親子が、安心して安全に遊べる場の提供を、店舗を中心に16ヵ所で実施しました。仮設住宅集会所6ヵ所でも実施しました。



子育てほっとステーション・ミニコンサート

### こ～ぷ子育てほっとステーション

震災後から定期的に「子育て情報レター」を作成し、子育てに役立つ情報を発信しています。また、親子が元気いっぱい楽しめる親子企画を開催し、参加した親子に喜ばれています。



子育てふれんず編集委員のみなさん

### 子育てふれんずニュース

子育て世代が編集委員で、興味関心のある旬な情報が満載のニュースを年4回、2,255名の会員に届けています。

## くらしと豊かな地域づくり

### こ～ぶくらしの助け合いの会

「困った時に、ちょっとしたお手伝いがあればずっと自分の家で暮らせるのに」というメンバーの願いから設立された「こ～ぶくらしの助け合いの会」は、1985年からみやぎ生協の福祉活動の大きな柱として活動を継続しています。

設立当初は会員が83人、活動時間が528時間でしたが、2011年度の活動は、会員総数が2,526人（利用会員：1,343人、活動会員：828人、賛助会員：355人）、活動時間は30,442時間となりました。

東日本大震災直後は、混乱の中にありながらもコーディネーターや活動会員が自主的に安否確認を行うなど、これまでの信頼関係があったからこそ活動ができました。震災後は沿岸部の活動が大きく減少するなどの影響を受けましたが、日時が経過とともに依頼も増加をたどり、震災で被災した家庭の子どもの見守りや仮設住宅に住む方から産前・産後のお手伝いをして欲しいという依頼など

にも、応えることができました。

また秋には、「ふれあい活動」として、日ごろ利用のない高齢の利用会員に対して「お元気ですか?」「何か困ったことはありませんか?」と訪問する活動に取組みました。訪問の際には「ふれあい弁当」や「消費者被害にあわないように」と作成されたマグネットをお届けするなど、利用会員からは大変喜ばれる活動となりました。同時に、全利用会員を対象にアンケートを実施し、震災後のくらしの状況や国や行政に望みたい復興支援などを聞き取りました。まとめた意見は、首長・県議・市議懇談を通じて行政に届けることができました。

東日本大震災からの復興支援活動にも積極的に取り組み、県内のボランティアセンターとの連携で、ふれあい喫茶へのボランティア参加もすすめました。今後も会員へのボランティア情報の発信など支援活動を継続していきます。



県内3会場で開催された助け合いの会の総会（仙台市福祉プラザ）



秋のふれあい活動では会員手作りのプレゼントを添えて



仮設住宅「ふれあい喫茶」開催のお知らせ活動

### こ～ぶくらしの助け合いとは

誰もが住み慣れたまちで暮らしていくために、日常のちょっとした困りごとをメンバーどうしあわせに助け合いましょうと1987年に設立されました。活動は「やってあげる」「やってもらう」関係ではなく、お互いに対等な立場にたつためと、利用会員の援助してもらいう気持ちの負担を軽くするために有償で行います。

みやぎ生協のメンバーであれば、誰でも会員になりますことができます。入会時には1000円と、翌年以降は年会費として1000円必要です。

### ふれあい活動

#### 福祉まつり

福祉共同作業施設とメンバー・地域住民との交流を目的に、塩釜杉の入店、亘理店の2会場で開催し、メンバーとボランティアなど456人が参加しました。

#### ふれあいお食事会

高齢者と一緒に楽しいひとときを過ごす「ふれあいお食事会」が、桜ヶ丘店、松島店、白石店で開催、243人の高齢者と145人のボランティアが参加しました。

そのほかに、福祉共同作業施設へのメンバーの見学は3回行われ、83人が参加しました。秋まつりや定期的な支援活動などへの福祉共同作業施設の出店は30回、のべ42施設となりました。

### 福祉共同作業施設への支援

#### ふれあい製品のお店「はあと」

幸町店にあるふれあい製品のお店「はあと」は、「仙台市障害者販売業務訓練等事業」を行う場所の一つで、福祉施設で作られた製品の展示・販売が行われています。障がいのある方が、店舗での販売・接客を通して一般就労に向けた経験を積み、社会体験や人間関係など視野を広げる機会となっています。店舗の無償提供を継続し、のべ270人がボランティアとして活動しました。

#### ありのまま舎会報折り込みボランティア

西多賀にあるありのまま舎で毎月発行している会報の折り込み作業に、のべ71人がボランティアとして活動しました。

## 平和とくらしの見直し活動

### ヒロシマ平和行動

8月4～6日に行われた「ヒロシマ平和行動」に、理事2名、親子1組が参加しました。

報告会では、中学1年生のお子さんが、写真を貼った報告書をもとに、被爆の証言や碑めぐりで感じたことを紹介。特に「原爆の子の像」に強い印象を受けたと話しました。



平和祈念式に参加

### みやぎ憲法九条の会の活動を支援しています

11月5日、みやぎ憲法九条の会主催の「憲法9条を守り生かす宮城のつどい2011」が、仙台サンプラザで開かれ、1,963人が参加しました。ノーベル賞を受賞した益川敏英さんの講演では、研究者の意思に関係なく研究成果が軍事利用される例を示し、研究者が生活者として社会にかかわることの必要性が話されました。



講演する益川敏英さん

### 消費税率引き上げをやめさせる活動

「消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城（県内62団体164個人が加入）とともに、学習会、国会要請行動などに取り組みました。

7月の総会では、鳥畠与一静岡大学教授による記念講演「消費税増税しなくとも復興できます!!」を行いました。被災地域の住民にとって、消費税は最も苛酷な税金であり、これ以上の増税は破壊された地域経済に大打撃を与えること。消費税の増税なしに財政重建を行う道筋などをお話しいただき、消費税増税引き上げに反論する下地となる学習会でした。

12月には、消費税率引き上げ反対の団体署名（175団体分）を内閣総理大臣・財務大臣・民主党税制調査会会长宛に提出し、県選出国會議員へ陳情を行いました。

◆平和とくらしに関する詳細はこちらからご覧になれます。 <http://www2.miyagi.coop/member/heiya/>

### くらし応援「かんたんかけいばプレゼント」と「くらしの見直し楽習会」

震災後のくらし応援の取り組みとして、「かんたんかけいば」のプレゼントを行い、2,136冊普及するとともに、「かんたんかけいば」学習会を12会場・延べ158名参加で開催し、家計簿をつけるメンバーを大きく広げました。共済センターライフプランアドバイザーと連携した「くらしの見直し楽習会」は、被災後のくらしの再生や必要な備えに役立つ内容で下期に16会場で開催、延べ151名が参加しました。

### 消費者力向上の取組み

メンバーの消費者力アップを目指し「震災後の消費者被害」「こころゆたかに省エネライフ」「税金の仕組みと節税」「e-ネット安心講座」の4回の講座を開催し、延べ345名が参加しました。税金の講座では東日本大震災被害の雑損控除による確定申告についてお知らせしました。



亘理店出張消費生活相談会

消費生活相談窓口（宮城県消費生活センター・消費者ホットライン）を記載したマグネットを作成し、相談窓口の認知度を上げる取り組みを行いました。また、宮城県消費生活センターの亘理店での「出張消費生活相談会」に協力しました。

### ウィズセミナー・きっずすくーる

ウィズセミナー・きっずすくーるは、震災後の文化会館ウィズ調理室を会場に、調理をメインにした講座に限定して9月からスタートしました。開催を待ち望んでいたメンバーからは、「日常が戻ったよう..」「親子で楽しく参加できてよかった」と好評で、21講座に353名が参加しました。



ローズガーデンのフラワーアレンジメント作り

### こ～ぷ文化鑑賞会

東日本大震災の被害の大きさから、文化鑑賞会石巻は活動を休止しましたが、文化鑑賞会仙台は8月から例会をスタートさせました。日常を忘れ音楽や舞台を楽しむことで、明日への活力が生まれると大変好評でした。



第89回例会  
「坂本冬美コンサート」

## 地域社会への貢献

### 日本ユニセフ協会や 全世界的規模のNGO支援団体との 協力による学校支援

宮城県の被災学校、被災児童生徒への支援のために、日本ユニセフ協会をはじめとする全世界的規模のNGO支援団体が、学校再開のための用品などの支援、被災児童生徒の学用品、教材教具、体育着などの支援を、県教委や市町村教育委員会を通しながら行いました。学校用品協会では、県内のすべての学校をカバーしていることから、主にユニセフ協会などの支援団体提供の学用品や教材教具などの手配と、各学校への迅速なお届けの協力を実行できました。



### 国際協力の取り組み

「フェアトレード」とは、「フェアトレード商品」の購入を通して貢献できる身近な国際協力活動です。みやぎ生協では、1999年より共同購入カタログで取り扱いをしています。そのカタログで扱う商品をメンバーの視点で検討する「見て・聞いて・参加して～フェアトレード商品検討会」を、10月に明石台店、3月に西多賀店で開催しました。参加者からは「フェアトレードについてよくわかりました」「多くの人に利用してほしいですね」などの感想が寄せられました。

2010年度からは、特定非営利活動法人「ハンガー・フリー・ワールド(HFW)」と連携し、未使用切手や商品券、ゲームソフト、DVD、CDなどをメンバーから回収し、HFWが換金してそのお金で、4つの開発途上国(バングラデシュ、ウガンダ、ベナン、ブルキナファソ)の人々の自立を支援する活動に協力しています。



### 行政への各種委員の就任

みやぎ生協は、行政などの要請により、審議会や協議会の委員として、多くの役職員・メンバーが就任し、活動しています。

- 宮城県高度情報化推進協議会幹事
- 宮城県農村振興施策検討委員会委員
- 宮城県認知症ケア推進会議委員
- 宮城県自然環境保全審議委員会委員
- 宮城県民間非営利活動促進委員会委員
- 宮城県卸売市場審議会委員
- 宮城県米需給検討委員会委員
- みやぎボランティア総合センター運営委員
- 仙台商工会議所小売商業部会常任委員
- 仙台市におけるチャレンジ25地域づくり事業検討会委員
- 仙台市泉保健所管内献血推進協議会委員
- 仙台市食品安全対策協議会委員
- 大崎市環境審議会委員
- 白石市食育推進協議会委員
- 石巻市環境審議会委員
- 「食育」活動表彰審査会委員

### ユニセフの取り組み

開発途上国の子どもたちの命と未来を支えるユニセフ支援が継続して取り組まれ、特に東日本大震災でのお礼の気持ちを込めて、ハンド・イン・ハンドや対象商品を購入することでユニセフに協力するキャンペーンも旺盛に行われました。

#### ■2011年度ユニセフ募金額

|                   |            |
|-------------------|------------|
| メンバーからの一般募金       | 3,943,598円 |
| お取引先様キャンペーン募金     | 1,151,364円 |
| 牛乳パック回収による募金      | 2,474,598円 |
| ペットボトルキャップ回収による募金 | 24,044円    |
| 合 計               | 7,593,604円 |

#### ■ユニセフ募金応援キャンペーンにご協力いただいたお取引先様

2011年度第1期(10月～11月):63社、第2期(2月～3月):56社（順不同、敬称略）

J-NET(株)、UCC上島珈琲(株)、UHA味覚糖(株)、(株)オーリムルズ、(株)アロイン化粧品、アース製薬(株)、味の素冷凍食品(株)、(株)あらた、伊藤ハムティリー(株)、岩塚製薬(株)、江崎グリコ(株)、エスティー(株)、エヌビー食品(株)、エバフード工業(株)、王子ネピア(株)、(株)オーラム小野商事、大塚食品(株)、オタフクソース(株)、花王カスタマーマーケティング(株)、カゴメ(株)、上山製紙(株)、カルビー(株)、カンロ(株)、キッコーマン食品(株)、牛乳石鹼共進社(株)、キリンビバレッジ(株)、銀河フーズ(株)、クラシエホールムプロダクツ販売(株)、コーセーコスメポート(株)、国分(株)、小山産業(株)、佐藤食品工業(株)、(株)サンエイ海苔、(株)サンエス、三幸製菓(株)、(株)スミフル、ジャパンフレーバー(株)、シュワルツコフヘンケル(株)、ショーワグループ(株)、(株)仙水デリマー、大王製紙(株)、太子食品(株)、(株)東流社、(株)永谷園、(株)などり、(株)ニチレイフーズ、日清オイオリオグループ(株)、日清フーズ(株)、日清ベットフード(株)、日本紙パック(株)、日本クラフトフーズ(株)、日本水産(株)、日本生協連、日本製紙クレシア(株)、日本製粉(株)、日本ハム東販売(株)、ネスレ日本(株)、ハウス食品(株)、はごろもフーズ(株)、(株)バスククリン、はたけなか製麺(株)、ナガセ(株)、(株)不二家、ブリマハム(株)、ベッターライン(株)、(株)ポッカコーポレーション、(株)マルハニチロ食品、丸大食品(株)、丸美屋食品工業(株)、(株)マンダム、(株)ミカミ、明星食品(株)、(株)明治、森永製菓(株)、(株)ヤクルト本社、ヤマサ醤油(株)、(株)ヤマダフーズ、雪印メグミルク(株)、ユニー・チャーム(株)、ライオン(株)、ライオン商事(株)、理研ビタミン(株)、渡辺水産、森永乳業(株)、加藤産業(株)

## 各種助成、表彰、募金活動

### こ～ぷほっとわ～く基金 2011年度助成

2011年度は、18団体に360万3,000円の助成を行いました。  
開始以来の助成累計は、337団体6353万8,950円になりました。

#### こ～ぶほっとわ～く基金助成団体一覧

| 2011年度上期 助成数:10団体 助成金1,762,000円   |   |
|---|---|
| 特定非営利活動法人仙台ダルクグループ仙台ダルク「第15回仙台ダルク記念フォーラムおよび仙台ダルク15周年記念映像と仙台ダルク活動報告フィルム制作」 | 特定非営利活動法人ネットワークオレンジ「みやぎまちづくり情報ひろば」                    |
| 非営利任意団体 たけのこ園<br>「障がい児(者)や父兄が真に望む環境の提供」                                   | 子育て支援グループ ちゃぶちゃん<br>「ホームページの充実のためのデジタルカメラの購入」         |
| 子育て支援ペビースマイル石巻<br>「親子の遊び場イベント事業」  | 特定非営利活動法人<br>働くお母さんと子供を支援する会<br>「震災のため破損した冷蔵庫を購入する事業」 |
| 特定非営利活動法人ハートライフせんだい<br>「第6回こころの癒しコンサート」                                   | 走る髪切り屋<br>「訪問理美容」                                     |
| とっておりの広場<br>「雨漏り防止と火災警報器設置」   | 秋保藁の家<br>「震災で壊れた『藁の家』の修繕」                             |

| 2011年度下期 助成数:8団体 助成金1,841,000円                       |   |
|--|---|
| NPOいのちはの森<br>「森のマーケット、こぐまカフェ、森のステージ同時開催」             | アフタースクールばるけ<br>「アフタースクールばるけの非常時用備品購入」               |
| 特定非営利活動法人まきばフリースクール<br>「教育・自立支援活動における子ども・若者の貧困対策研究会」 | わらべっこ・仙台<br>「子どもの一時預かり事業」                           |
| 大和町障害を持つ児童の親グループにこさっず<br>「障害を持つ児童と親のにこにこ事業」          | アートリバイバルコネクション東北<br>「障がい者支援施設しおかぜとのアート活動」           |
| 高齢者配食サービス「ほっと亭」<br>「食器消毒乾燥機&保管庫の設置」                  | 特定非営利活動法人World Open Heart<br>「[犯罪加害者家族の子どもたち]のサポート」 |

#### 今までこれからも

### こ～ぶほっとわ～く基金

1992年、みやぎ生協設立10周年を記念して創設されました。事業剩余から5億円を積み立て、その果実(利子)を、年に2回、宮城県内で地域福祉向上のため活動している団体や個人を支援するために助成しています。助成対象となるのは、高齢者、障がい者、児童のための次のような非営利活動です。1)生活を支援する活動、2)支援施設づくり(改装、備品の購入を含む)、3)住みよい社会をつくるための調査・研究活動、4)住みよい社会をつくるための交流集会、研究会、シンポジウムの開催および活動記録の作成、5)その他、上記の目的を達成するために必要な事業



2011年度上期助成団体の皆さん



2011年度下期助成団体の皆さん

### 社会福祉協議会表彰など

福祉共同作業施設への支援や、こ～ぶくらしの助け合いの会活動などの長年の福祉活動の功績に対して、平成23年度仙台市社会福祉協議会会长表彰、および仙台市市長感謝状を受賞しました。



■仙台市市長  
感謝状  
鈴木 洋子  
こ～ぶくらしの助け合いの会  
コーディネーター



■仙台市  
社会福祉協議会  
会長表彰  
(ボランティア労働者区分)  
賀屋 節子  
セラピ辛町「はあと」のお店  
ボランティア

### 募金

#### 「東日本大震災被災者支援募金」

東日本大震災で被災された方々の生活再建を応援することを目的に取組みました。お寄せいただいた募金は、今までの募金の中での最高額となり、2011年9月8日(木)に第一次分、2012年2月3日に最終分として、宮城県に贈呈しました。県を通じて被災者へ義援金として贈られます。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 取組み期間 | 2011年4月から12月20日まで |
| 総額    | 39,842,756円       |

#### 「台風12号災害支援募金」

9月に発生した「台風12号」で被災した和歌山県・奈良県・三重県の方々の生活支援のために取組みました。お寄せいただいた募金は12月20日に奈良県生協連へ送金しました。奈良県生協連が窓口となり、三県に配分され、被災者へ贈られます。

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 取組み期間 | 2011年10月1日から10月30日まで |
| 総額    | 1,741,413円           |

#### 「つながろうCOOPアクションくらし応援募金」

日本生協連が「つながろうCOOPアクションくらし応援募金」として全国の生協に呼びかけた募金に、みやぎ生協でも取組みました。「仮設住宅への灯油支援」と「福島の子どもも保養プロジェクト」を進めるための募金で、お寄せいただいた募金は3月19日に日本生協連へ送金しました。

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 取組み期間 | 2011年12月21日から2012年2月20日まで |
| 総額    | 3,341,130円                |

# 03

第3章  
事業活動

メンバーのくらしと  
地域の復興のため  
災害に強い  
生協づくりを  
進めています



## 店舗

県内44店舗で営業、食とくらしを豊かで  
便利にする商品やサービスを提供して  
います

「食の安全」の確保や「食料自給率」向上に向け、めぐみ野商品（産直）・県産品・コープ商品の利用拡大に取り組んでいます。また「いいコープの日」「どんどんたまるスタンプキャンペーン」「シニアメンバー」、「ワンデービッグバーゲン」「スーパー朝市」などメンバーのくらしを支える企画も実施しています。

コープポイントが暮らしを  
お得にイキイキさせています



コープポイントマーク

お買物金額300円ごとに1ポイントを付与するコープポイントが人気です。週末(土・日)及び毎月1日には2,000円以上のお買い上げでポイントが3倍または5倍になるお得なサービスも実施しています。

エコポイントの交換を「COOP商品券」に  
交換できるようにしました

◆詳しくは、みやぎ生協HP「生協のお店」のページをご覧ください。  
<http://www2.miagi.coop/shop/>

高齢者支援として「シニアメンバー」の登録者が6万人を超え、たくさんの支持を得ています

毎週木曜日に開催している65歳以上のシニアメンバーは、更に多くのメンバーさんに支持され登録者は11年度で1万2千名増加し、現在6万6百名まで拡大しています。



## 確かな品質をお求めやすく コープベーシックシリーズ

くらしに欠かせない「ベーシック」な商品を「確かな品質」で「お求めやすく」お届けするシリーズです。コープはこれからも「安全性・品質・低価格」を基本コンセプトにメンバーのふだんのくらしを応援していきます。



コープベーシックの商品

## 安心してお買物ができるよう 「耳」マークへの対応

聴覚に障害をお持ちの方が安心してご利用いただけるよう、全店のレジチーフを対象に基本的な「あいさつ」「5大用語」の手話を継続して学習しております。今後、受付職員向けの学習を開始し、いつでもコミュニケーションが図れるように進めていきます。



耳マーク

## 製造・加工も行っています

みやぎ生協には、PCセンター（ミートセンター、フィッシュセンター）と豆腐工場、揚げ工場の食品工場があります。震災の影響により2011年度は休業とならざるをえませんでした。その後再建に向けた準備を進め、豆腐工場の規模を縮小し、老朽化している揚げ工場を豆腐工場に移転して豆腐・揚げ工場として新たに生まれ変わりました。



新豆腐・揚げ工場

## 共同購入

### カタログ発行を復活させ メンバーのくらしを支えました

配達を再開した4月2週では供給前年比40%、利用者数前年比55%まで回復し、Weekが復活した5月1週号で供給・利用者は前年比84%まで回復しました。全カタログが復活した6月1週以降は供給と単価が2桁伸びを安定的に維持しました。全国の仲間づくり支援もあり利用者数は12万人（前年比102.5%）まで回復しました。

### 被災者に寄り添う事業と運動を通じて くらし復興の支援を幅広く行いました

新たに開発した個配手数料の被災者支援サービスとイベント車をフル活用し、仮設住宅、在宅被災者へのお役立ち提案を行いました。被災者支援サービスは1万人を超える、イベント車の活用では3,600世帯を超える方にご加入いただきました。新たなサービスの開始により、共同購入がより一層くらしのお役に立つことができました。

### サンネット共同購入統一冷凍セットセンター (SKFC)が稼動しました

富谷町成田の新物流センターで、サンネット共同購入統一冷凍セットセンター(SKFC)が稼動しました。6県分の冷凍セットセンターを1ヶ所に集中させることで、コスト効率の改善と企画品数の拡大が実現できました。共同購入の冷凍品の企画品数は、それまでの220品目から350品目まで拡大が可能になりました。



被災地を走る共同購入トラック



イベント車での活動の様子



サンネット共同購入統一冷凍セットセンター

## くらしのサービス

### 組合員の声から生まれました COOP共済

#### ピンクリボン運動を応援しています

共済センターでは、メンバーが暮らしの保障やお金について学ぶ活動「ライフプランニング活動」を支援しています。その活動の一環として「ピンクリボン運動」を実施しました。共済カウンター設置店舗での「乳がん触診モデル体験会」では、多くのメンバーに来店いただき、実際に乳がんのしこりを体験して自己検診での早期発見の大切さを学習していただきました。実際にこの活動から乳がんを早期発見されたメンバーも実在していますので、今後も共済カウンター設置店舗を中心にライフプランニング活動を通してメンバーのお役に立てる情報を提供していきます。



共済ピンクリボン運動の様子

### 住宅リフォーム、修繕、クリーニング コープ住まいのセンター

住まいのセンターでは、今回の震災で瓦屋根等の修繕依頼を相当数受付をしました。県内の瓦屋根業者は修繕件数が多く対応しきれない状況で修繕を申し込んでも施工は半年先、一年先とも言われる屋根だけでも年内に修繕できないかとの思いから、全国の生協住宅部門に支援を働きかけ愛知県名古屋市から瓦屋根工事店職人さんを派遣いただけたこととなり、精力的に施工に当たっていただきました。施工したメンバーさんから「年内にブルーシートがはずせて良かった。遠いところからありがとう」と大変喜ばれました。また、それでも多くのメンバーの方々が困っている中、県内の職人不足が解消される状況にはありませんでした。しかし、新しく山形の工事店と提携を開始したことで隣県の山形から屋根瓦修繕の職人の手配が出来る事になり、月5件程度の屋根瓦修繕を予約制で取り進め、メンバーのお役に立つことができました。

### あんしんでおいしい水をいつでもご家庭で アクアクララみやぎ生協

#### 社会福祉協議会や保育所へ無償提供しました

リターナブル(回収再使用)ボトルを使用し、環境資源にも配慮した水宅配事業を展開しています。宅配している水ボトルは、いざという時の家庭の備蓄水としてもご利用いただけます。

東日本大震災では、自社工場が断水・停電によりアクアクララ水の製造ができませんでしたが、工場の製造在庫ボトルを避難所等にお届け、利用者の方々へ山形県のアクアクララグループ工場から製品水を調達し、1日も休むことなくお届けを続けました。アクアクララ本社との連携で、ウォーターサーバーを県内37箇所の社会福祉協議会、臨時保育所などに9月から3月まで設置し、ボトル水の無償提供を実施しました。



アクアクララの水を飲む子どもたち



屋根瓦修繕の様子

## こーぶ福祉会

### 設立と歩み

「こーぶ福祉会」は、みやぎ生協の福祉の理念を介護保険事業で実践するために、1999年に設立され、2012年に13年目を迎えた社会福祉法人です。「心豊かで健やかな暮らしのお手伝い」「優しさと思いやりを持った人づくりのお手伝い」「ふれあいとぬくもりのあるまちづくりのお手伝い」を基本理念にいしのまき、緑ヶ丘、桜ヶ丘の3か所でデイサービスセンター、ヘルパーステーション、居宅介護を備えたこ～ぶのお家を設置しています。また、八乙女に居宅介護施設と福祉用具、桜ヶ丘に訪問看護ステーションをそれぞれ設置しています。後援会員は111名(以下、人数は2012年1月現在)です。職員数は2月総勢202人です。

3つのデイサービスセンターでは、1ヶ月平均1,815名が利用し、のべ280名のボランティアがこーぶ福祉会の活動を支えています。

こ～ぶのお家のデイサービスの特徴は、食事がおいしいことです。毎日の昼食はスタッフの手作りです。暖かいものは暖かく、コープ商品や産直野菜も使った昼食を召し上がっていただいています。

ヘルパーステーションは、一人で利用者のお宅に伺い仕事をすることがほとんどの登録ヘルパーたちは月1回自分たちで学習会を企画し、スキルアップや相互のコミュニケーションを図っています。他

の施設ではみられないヘルパー自身の積極的な運営・参加が信頼されるヘルパーステーションをつくっています。

「こ～ぶのお家」には、地域の方だけでなく、たまに生協職員もボランティアに来てくれます。得意なお寿司を握ってくれたり、オリジナルの音楽を披露したり、お祭りの手伝いに参加してくれたりと、いつもと違った一面も見せてくれています。

仙台市から「桜ヶ丘地域包括支援センター」を受託し、みやぎ生協桜ヶ丘店内に事務所を開設し、高齢になっても安心して地域で暮らしていくように、桜ヶ丘・川平地域の町内会や福祉施設、病院等と連携し、介護予防教室の開催や学習会など様々な活動をすすめました。

2012年度の介護保険の改定では介護報酬を下げる方向が明確になり、利用者や施設運営に困難が予想されます。こーぶ福祉会は、利用者や家族が困難な中にあればこそ、サービスの質において地域で最も評価される存在になり、利用者と家族、地域との協同の力をつけて、設立の趣旨である地域に根ざした温かな福祉・地域社会を実現していく一翼を担いたいと考えています。

### 震災をのりこえ、みやぎ生協の「福祉の理念」をこれからも実践していきます

3月11日の東日本大震災で「こ～ぶのお家いしのまき」と多くの利用者が被災しました。

当日、いしのまきは津波の影響で利用者宅の被災、道路の寸断などの理由で16名の利用者・ボランティアをお送りできず、3月11日夜から20日まで近くの避難所で職員と一緒に宿泊してケアしました。訪問看護ステーションは震災直後から人工呼吸器・在宅酸素など命に直結している方々や充電機能付き器材の利用者で在宅継続困難な方へ入院先の情報を伝え搬送誘導しました。ヘルパーステーション、ケアプランセンター、福祉用具、地域包括支援センターはそれぞれのご利用者の安否確認を行い、一人暮らしの方を避難所に送ったりしました。仙台市内では3月28日以降デイサービスステーションを再開ましたが、いしのまきは被災の影響で4月7日によく再開しました。

仙台地域でも、震災が原因となって在宅でヘルパーステーションの利用している高齢者が、ご家族の元へ引っ越したり、施設入所するなどの理由で減少しています。

東日本大震災での経験を生かして震災への備えを整備しました。

こ～ぶのお家いしのまきでは近所に仮設住宅が設置されました。仮設住宅にお住まいの高齢者を対象にふれあいの場「福祉サロン」を9月からのべ13回(3月まで)開催し、のべ165名の高齢者、のべ154名ボランティアが毎回違ったお料理を作って、交流しました。顔エステや松島医療生協の協力で健康チェック、肩こり体操などの企画を実施しました。大和郡山ロータリークラブの協力で金魚すくい大会を開催し、子供たちを含めた交流ができました。また、全国の生協がつくった福祉法人やデイサービスの利用者から多くの物資支援や励ましをいただきました。



「こ～ぶのお家であいましょう」こ～ぶ福祉サロンの様子

## 学校部・(株)宮城県学校用品協会

(株)宮城県学校用品協会とは:みやぎ生協100%出資の子会社。県内の学校教材販売、家庭学習教材・教室、保険事業を取扱っています。

### 学校・先生方に役立つ情報提供 『COOP授業に役立つ学習ガイド』

学校部では、みやぎ生協で行っている、環境・食・福祉・ユニセフなどの活動から、学校での学習素材として使えるものを『COOP 授業に役立つ学習ガイドブック』にまとめて掲載し、県内全小・中各学校へお届けし情報を提供しています。



ビデオ貸出し、資料提供・頒布、生協店舗や取引先工場見学、生協事業所職場体験等の受入など

### 職場体験・見学の受入

職場体験実習・見学は店舗を中心に共同購入・学校部・ディサービスセンター・産直コースなどを設定しています。2011年度は職場体験・実習(103校)、職場見学(14校)、食育体験店舗ツアー(14校33回)などの受入を行っています。

#### ●職場体験・施設見学・体験学習のお申込手順

学校部受付【FAX】

研修受入窓口(人事教育部教育担当)

各事業所責任者に受入要請

研修先が決定

人事教育部から申込みいただいた学校の責任者の方へ連絡

### 学校教育に役立てられている 宮城県学校用品協会の教育助成制度

みやぎ生協子会社の宮城県学校用品協会では「小中学校の教育実践活動への助成を通じ、宮城県内の学校教育の進展に寄与する」ことを目的に、学校用品事業を通して生まれた収益の一部から「教育助成」を行い、さまざまな教育研究活動や授業に役立てられています。

主な教育助成内容として、学校研究活動助成教育講演会・講習会講師紹介・派遣などを行っております。2011年度の助成金額は800万円でした。



リコーダー講習会の様子

### こ～ぷ家庭教育センター

幼児～中学生までの家庭学習教材販売、学習教室、英会話教室事業を通して、子どもたちの学力向上、家庭学習の習慣づけの支援活動を行っています。



学習クラブの様子



新学社「ポピー」・日本標準「はつらつ」

### 学校教材販売、出版物支援事業

みやぎ生協100%出資の宮城県学校用品協会の学販部門は、県内すべての学校で使用する教材教具、備品、体育着などを取り扱っています。「よりよい教材をより安く」というテーマのもと、日常的に教育現場の先生方のご意見を聞き取り、児童生徒に役立つ、先生にとって指導しやすい教材の提供をモットーにしています。

また、各小中学校教科研究会の編集、発行している出版物・図書の編集、販売支援をしています。代表的なものとしては、宮連小中書写研究会の書きぞめ手本作成、書きぞめ展開催や仙台市小学校教科研究会編集発行の夏休みドリル帳などがあります。



学校用品協会後援の県書きぞめ展

## 機関運営とコンプライアンス

### 外部によるチェック・指導

みやぎ生協が行う諸活動や事業は、下記のような外部によるチェック・指導を受けています。

#### ■公認会計士 (会計処理、財務報告の適正化と監査)

#### ■顧問弁護士 (法務の適正化、訴訟対応、職員からの内部通報の受け付け)

#### ■産業医 (職場の安全・労働衛生状況に関する調査・指導)

#### ■監事会 (決算、理事の業務執行の監査)

#### ■環境監査委員会 (環境活動に対する学識経験者・メンバー代表・監事による監査)

#### ■外部環境審査 (ISO14001認証機関による審査)

#### ■宮城県による指導検査 (生協法94条による)

### 公正な取引の徹底

「公正な取引の徹底」はみやぎ生協の事業活動にとって、もっとも重要なものであるとともに、お取引先様に対する最大の責務です。私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(独占禁止法)の第19条(不公正な取引方法の禁止)及び、一般指定第14号(優越的地位の濫用)、下請法に抵触するような優越的地位の濫用は、決して行ないません。

### お取引先とのパートナーシップ

毎年6月、お取引先の中から選任された「呼びかけ人」が主催する「みやぎ生協の方針を聞く会」を開催しています。これは、お取引先にみやぎ生協の次年度の方針をご理解いただき、よりよきパートナーシップを形成していく一助とすることを目的としています。

1982年にみやぎ生協が設立して以来続いている会で、2011年度はお取引先約750社、1,100名の参加がありました。

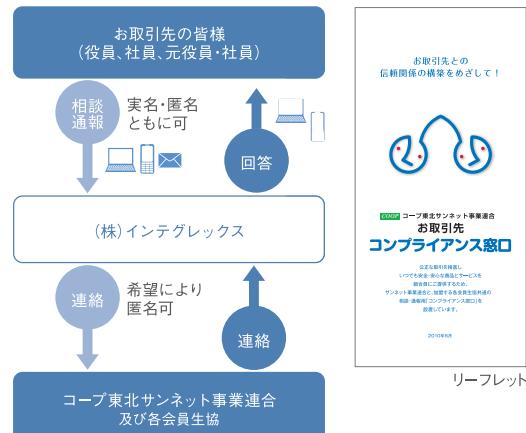
◆みやぎ生協に関する詳細はこちらからご覧になれます。 <http://www2.miyagi.coop/about/>

### お取引先コンプライアンス窓口の設置 (外部通報制度)

サンネット事業連合と加盟する7生協(コープあおもり、コープあきた、秋田県北生協、いわて生協、生協共立社、みやぎ生協、コープふくしま)が、一緒に「お取引先コンプライアンス窓口」を設置し、2010年7月1日より運用を開始しました。

この窓口を設置した目的は、生協及び生協子会社の役職員、お取引先による不公正な取引、契約違反、産地偽装、製造日改ざんなどの法令違反行為に関する通報・相談を、お取引先の役員・社員(元役員・社員を含む)の方にお願いし、これらの問題の解決を図ることで、コンプライアンスの推進を図るためです。

通報・相談の受付窓口は、透明性や秘匿性を確保するために、第三者機関に委託しています。お取引先には制度の内容を理解していただるために、専用のリーフレットを送付しました。公正な取引を推進し、いつでも安全・安心な商品とサービスをメンバーに提供できるよう、お取引先との信頼関係を構築していきます。2011年度通報はありません。



### 内部統制システム整備の取組み

みやぎ生協では、内部統制の4つの目的を実現するため、2010年2月理事会において内部統制システム整備基本方針を議決し取組みを進めてきました。2011年度は東日本大震災により一旦取組みを停止せざるを得ませんでしたが、2011年度下期に、職務の効率性の面やコンプライアンスの面でのあらたな計画を理事会で議決し、取組みを終了させました。

みやぎ生協が現在持っている弱点を克服し、「メンバー(組合員)の暮らしを守り、信頼をより高める」ことを一層高い次元で実現していくために、今後とも内部統制システムの整備を継続的に進めています。

# 04

第4章 環境活動

かけがえのない  
自然・環境を未来に  
残していく取り組みを  
進めています



## 理念・方針

### 環境理念

みやぎ生協は、メンバー(組合員)と職員の活動や事業における取組みを通して環境負荷の低減と自然との共生に貢献し、持続的に発展する社会づくりに寄与します。

### 環境方針

みやぎ生協は、食料品、衣料品、日用品雑貨等の商品をメンバーに供給していることを踏まえ、環境理念を基に環境保全活動を進め、事業者としての社会的な責任を果たします。

- 1.「低炭素社会、循環型社会、自然と共生した社会づくり」の3つの視点で、メンバーとともに以下の4つの重点課題に取り組みます。
  - 1)生協事業におけるCO<sub>2</sub>の総量削減  
省エネ機器、再生可能エネルギー、BDFなどの普及、拡大によるCO<sub>2</sub>の総排出量での削減
  - 2)事業からの廃棄物の削減・再資源化  
事業及び家庭ごみの減量のための発生抑制、再利用、再生利用、熱回収などの推進
  - 3)環境に配慮した地域社会の構築  
市民(メンバー・生活者)、市民団体、自治体、行政などと環境に配慮した地域社会構築の推進
  - 4)商品事業における環境配慮  
みやぎ生協の産直品・地産地消商品、環境配慮商品の取り扱い強化
- 2.環境に関する法規制及びみやぎ生協が受け入れを決めた要求事項(協定書など)を順守します。
- 3.環境汚染の予防と自ら構築した環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- 4.全職員及び業務委託先に教育・啓発を積極的に行い、環境方針の理解と環境意識の向上を図ります。

この環境方針は、生協内外に公表します

2011年 10月 21日  
みやぎ生活協同組合 専務理事 宮本 弘

◆環境に関する取り組みの詳細は下記のURLからご覧ください。<http://www2.miyagi.coop/about/kankyou/>

## 生協事業におけるCO<sub>2</sub>の総量削減

東日本大震災の影響による停電や、事業所の一時営業休止、営業時間の短縮等のためエネルギー使用量が減少しました。一方、電力不足、改正省エネ法への対応とともに、長期計画で目標とした05年度比15%のCO<sub>2</sub>削減達成に向け、店舗を中心とした全事業所で節電、特に夏・冬の省エネの運用を徹底し、電力使用量の削減に取り組みました。

### CO<sub>2</sub>の排出量

2011年度は、省エネ運用管理の強化や、省エネ設備の導入効果により、みやぎ生協全体のCO<sub>2</sub>排出量は36,935tと前年よりマイナス7,567t、前年比83.0%と計画を大きく上回る実績となりました。

また、みやぎ生協は日本生協連を中心に全国の生協とともに、CO<sub>2</sub>削減の自主行動計画を作成して取り組んでおり、2011年度は基準年を2005年とした新たな長期削減目標を設定しました。みやぎ生協全体のCO<sub>2</sub>排出量は2005年度対比で86.0%、6,018tの削減となりました。



### 省エネ設備の導入

省エネ設備の事業所導入は震災前に設定した2011年度計画を全て実施するとともに、震災の復旧に伴う施設設備工事の中で、設置可能な店舗には時期を早めるなどし、4つの省エネ設備を各店舗に設置しました。このことによる年間CO<sub>2</sub>の削減試算量は880(t-CO<sub>2</sub>)と大きな削減効果となりました。

| 導入した省エネ設備       | CO <sub>2</sub> 削減量(t-CO <sub>2</sub> ) |
|-----------------|---|
| ①オーバーキャノピー15店舗  | 131                                     |
| ②LEDスポットライト25店舗 | 197                                     |
| ③冷凍機散水設備33店舗    | 107                                     |
| ④高効率冷凍機4店舗      | 445                                     |
| 合計              | 880                                     |

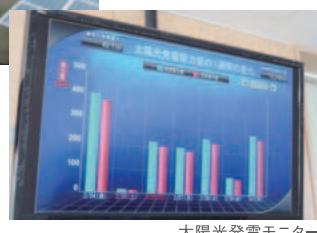
\*小数点第1位を四捨五入しています。

### 太陽光発電の導入

コープ富谷共同購入物流センター(TKLC)に80kwの太陽光発電システムを設置しました。この発電システムで年間約28tのCO<sub>2</sub>が削減できます。これまで導入した事業所とあわせ、合計6事業所、総出力270kw、想定CO<sub>2</sub>削減量は97tとなりました。



屋上への太陽光発電パネルの設置



### 電気自動車の導入

電気自動車2台を共同購入富谷支部に導入しました、年間CO<sub>2</sub>削減量は約7.5tです。支部2階駐車場には、電気自動車専用の「充電設備」も設置しました。



みやぎ生協電気自動車



## 事業からの廃棄物の削減・再資源化

### 「古紙リサイクルポイントシステム」の設置店舗を拡大しました

家庭ごみ削減の取り組みの一環として2010年度に8店舗設置しましたが、実施店舗周辺のメンバーから好評をいただくとともに、各店舗への設置を望む声が多く寄せられ、2011年度は15店舗拡大し、合計23店舗としました。

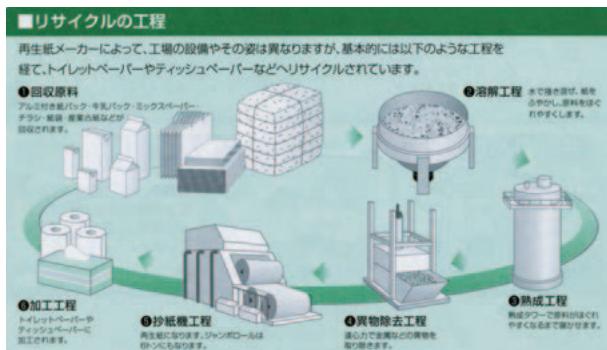
「古紙リサイクルポイントシステム」はメンバーが来店の際に古紙(新聞紙、チラシ、雑誌など)を持参し、店舗敷地内に設置した計量器付コンテナで重量を計測、その重量に応じてポイントが貯まり、一定ポイントになると、みやぎ生協の「割引券」が発行されるシステムです。



古紙リサイクル回収所の様子(岩切店)

### 「アルミつき紙パック(ABパック)」の回収を始めました

2011年9月1日からアルミつき紙パックの回収を始めました。これまで、アルミつき紙パック(ABパック)を古紙として再生することが難しいことから回収対象品から除外していましたが、古紙再生技術の向上に伴い飲料用紙パックとアルミつき紙パック(ABパック)が混在してもリサイクル処理が可能となりました。



### 「仙台市家庭用使用済食用油リサイクルモデル事業」の開始

家庭から排出される使用済みてんぷら油などの食用油(植物油)を回収し、バイオディーゼル燃料(BDF)に資源化して再利用する仙台市のモデル事業への協力を開始しました。(桜ヶ丘店、榴岡店、高砂駅前店の3店舗)

BDFへのリサイクルは、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を削減し、杜の都の優れた環境を次の世代に引き継ぐことにつながることから、今後、事業の拡大を図るため、このモデル事業において使用済み食用油(植物油)の賦存量、品質及び回収方法等について調査を行います。



家庭用使用済食用油回収所の様子

### リサイクル率の推移

(単位:t)

|        | 2009年  | 2010年  | 2011年  |
|--------|--------|--------|--------|
| 再資源化品  | 16,251 | 14,565 | 14,105 |
| 一般廃棄物  | 4,224  | 4,026  | 4,138  |
| 合計     | 20,475 | 18,591 | 18,243 |
| リサイクル率 | 79.4%  | 78.3%  | 77.3%  |

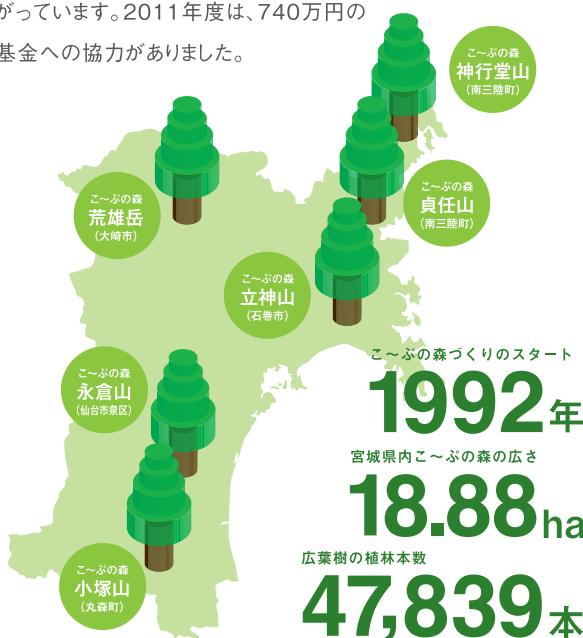
\*小数点第2位を四捨五入しています。

◆環境に関する取り組みの詳細は下記のURLからご覧ください。  
<http://www2.miagi.coop/about/kankyou/>

## 環境に配慮した地域社会の構築

### “こ～ぶの森”的活動がひろがりました

県内の自然と緑を豊かにする活動として、「COOP緑の基金」を活用した“こ～ぶの森”づくりを1992年からすすめています。これまでに、18.88haに47,839本の広葉樹を植林しました。森づくりのための費用は、店頭回収したアルミ缶の売却益やレジ袋販売収益金、メンバーからの募金などを積み立てた「COOP緑の基金」を活用しています。また、花王エコライフキャンペーン、キリングループのキャンペーン、ロッテアイスキャンペーンなど協賛企業様からの募金や、“こ～ぶの森”支援自販機からの募金、生協車検工場様からの募金などの協力をいただき、“こ～ぶの森”づくりへの支援の輪が広がっています。2011年度は、740万円の基金への協力がありました。



### 生物多様性をはぐくむ“こ～ぶの森”

“こ～ぶの森”をフィールドに、里山が生物多様性保全に果たす役割を実感する機会として観察・体験会を夏から秋にかけて3回開催し、めぐみ野生産者との交流など産直とも連動した活動としました。

2011年度は震災のため、5月に予定していた南三陸町での植林を中止しましたが、2012年度は震災復興・地域再生をめざし「こ～ぶの森神行堂山」での植林活動を行います。

永倉山観察会の様子



### みんなで「節電・節水」にチャレンジしました

震災による電力供給量の不足、下水処理能力の低下に伴う「電力と水の危機」に対し、多くのメンバー・職員が積極的に取り組む活動として、「夏の節電・節水チャレンジ」(6～9月)と「冬の節電・節水チャレンジ」(11～2月)を事業と連携して展開しました。夏の取り組みには203名、冬は906名の参加で電気に頼らない工夫を広げることができました。応急仮設住宅で電気に頼らず、夏に涼しく過ごす工夫「ひんやりお届けプロジェクト」や冬の寒さ対策などをお届けし、被災地ならではの「節電・節水」の仕方を発信しました。ブログ「みんなでエコinみやぎ」を開設し、参加者から寄せられた節電・節水の工夫などを発信しています。また、(公益)みやぎ環境とくらし・ネットワーク(MELON)が行っている環境省委託事業「みやぎ節電コンソーシアム」と連携した活動としました。



冬の節電・節水チャレンジシート



ブログ「みんなでエコinみやぎ」

### 教え合い・学び合いで環境の取り組みを広げました

学習会「節水生活で復興応援」を、仙台市水道局職員を講師に招き、MELONと共に開催し57名の参加で、下水処理場の現状や節水の必要性・方法について学習しました。また節電・節水に関するミニ学習会が32会場、延べ593人参加で開催され、環境研究会メンバーなどが講師活動を行い、メンバーどうしの学び合いを広げました。



こ～ぶのつどいでの学習会

### 震災に学ぶ、これからエネルギーについての学習を深めました

東京電力福島第一原発事故は、原発事故の被害の影響の甚大さと問題点を露呈しました。原発に頼らない「これからのエネルギーを考えよう」をテーマに、東北大学院環境科学系教授新妻弘明さんを講師に迎え12月5日エル・パーク仙台で学習会を開催しました。89名が参加し、エネルギー供給の現状や問題点、震災体験を通じて考えるこれからのエネルギーのあり方などについて理解を深めました。



エネルギー学習会

## 商品事業における環境配慮

### 新たな環境配慮商品基準の見直しを行いました

日本生協連の環境配慮商品基準としたエコマーク、有機JAS※1、特別栽培農産物※2、漁業認証制度(MSC)※3、森林認証制度(FSC)※4、カーボンフットプリント、の6つの外部基準を基に、みやぎ生協の環境配慮商品基準の見直しを行なっており、2012年度に改定します。

※1:有機JAS:有機農産物で、農林水産省の登録を受けた登録認証機関の認証

※2:特別栽培農産物:農薬と化学肥料の両方について、その地域の通常の栽培法(慣行)より50%以上削減してつくった農産物

※3:MSC:海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物(シーフード)に与えられる認証エコラベル

※4:FSC:森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかない、経済的にも継続可能な形で生産された木材に与えられる

### カーボンフットプリント(CFP)マーク 標示商品の供給開始

めぐみ野ふるさと米3種類のCFP(カーボンフットプリント)算定・申請を行いCFPマークの使用が認められたことから、このマークを使用した「めぐみ野ふるさと米ひとめぼれ2kg、5kg、10kg」の供給を開始しました。

●カーボンフットプリントとは、「炭素の足跡」の意味です。「製品・サービスの原料調達から消費・廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通じて排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、「見える化」(標示)する仕組み」です。



めぐみ野ふるさと米におけるCO<sub>2</sub>の排出量

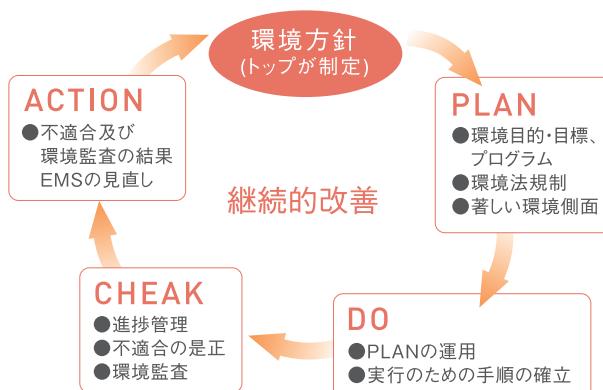
|                     | ふるさと米2kg | ふるさと米5kg | ふるさと米10kg |
|---------------------|----------|----------|-----------|
| CO <sub>2</sub> 排出量 | 3.36kg   | 8.36kg   | 16.6kg    |



CFPマークは「秤」をモチーフにデザインされています。CO<sub>2</sub>は見えないものですが、見る人(利用者)に意識的に「量っている」ことを気付いていただき、ライフルタイルを見直していくいただくことを目標にしています。

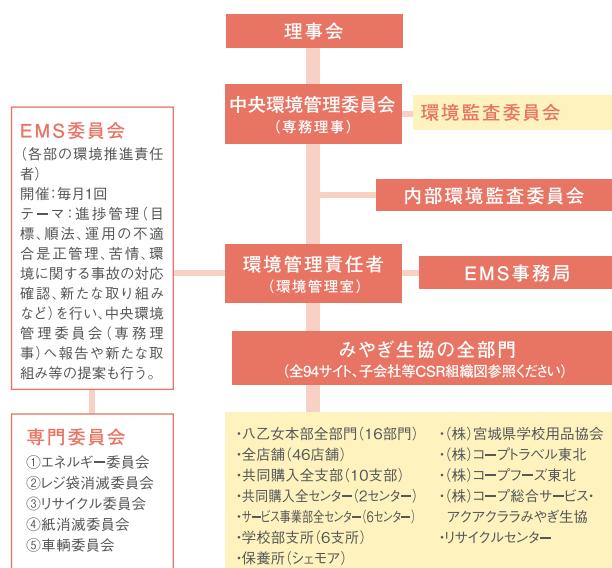
### 環境マネジメントシステムの推進(PDCAサイクル)

1998年度にISO14001認証を取得して以来、PDCAサイクルに基づくEMS(環境マネジメントシステム)を構築し運用しています。



◆環境に関する取り組みの詳細は下記のURLからご覧ください。  
<http://www2.miyan.coop/about/kankyou/>

### 環境管理体制



## 外部環境監査、ISO審査、内部環境監査

### 外部環境監査

みやぎ生活協同組合

理事長 齋藤 昭子様

2012年4月21日

#### 環境監査委員会

|            |        |
|------------|--------|
| 委員長 鈴木 敏 央 | 遠藤 智 栄 |
| 委 員 粟津 洋 子 | 高橋 春 男 |
| 門田 陽 子     | 西野 さかえ |
| 中田 俊 彦     | 山田 美智子 |
|            | 渡辺 淳 子 |

当委員会は、みやぎ生協環境管理規程第14条、同環境監査規程第6条および第7条の規定に基づき、みやぎ生協の環境管理および環境保全活動について、以下の通り環境監査を実施したので報告する。

#### 【環境監査の実施日】

2011年11月26日 2011年度上期環境監査(書類監査、「富谷共同購入物流センター」の現地監査)

2012年 4月21日 2011年度環境監査(書類監査及び総合監査)

#### 【監査報告書】

2011年度の環境監査においては、東日本大震災による影響を考慮することが必要である。大規模な被害を被ったにもかかわらず、みやぎ生協とメンバーの環境保全活動の取組みが前進したこと、および以下に述べる事項は評価できる。

#### 【評価事項】

- 通常業務の復旧にあたりつつ環境マネジメントの観点から着実にデータを蓄積し、環境性能の向上を目指した活動を推進したこと
- 最もエネルギー消費量の大きな電力を対象にして、通常業務に支障をきたすことなく猛暑下の節電要請に対応したこと、照明のLED化・店舗の冷凍機の更新を着実に進め、一層の省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>削減の目標を達成したこと
- 地域社会が混乱している中で、様々なプロジェクトを通じ、またメンバーや他の環境団体と協働し環境に配慮した活動を継続したこと
- メンバーが継続的に取り組んできた環境に配慮した生活スタイルおよび節水の活動を被災下の生活で実践し、広めたこと
- 従来から取り組んできた産消直結商品を「めぐみ野」としてブランド化し、混乱する食料情報の中で一貫した品質の商品を継続して消費者に提供していること
- BDFの原料となる家庭用使用済てんぷら油の回収を、仙台市のモデル事業への協力として市内3店舗に広げたこと

#### 【指摘事項】

- 今後、更に環境活動を推進していくために、モデル店舗を抽出し、電気使用量等について時間毎、月毎といった詳細なデータを継続的に取得・蓄積し、定量的に把握すること
- 地域社会に環境配慮の理念に基づく活動を広め、災害時に生活環境の保持機能を確保できる事業のあり方を検討すること、例えば自家発電機の燃料不足等、東日本大震災で明らかになった課題に適切に対応していくこと
- 生物多様性の理念を含む環境保全活動について、より具体的な取組目標の設定を検討すること

以上

### ISO審査

○実 施 日 2011年11月7日～11月9日

○審 査 員 3名(日本環境認証機構)

○審査結果 EMSマネジメントシステムの総合評価は向上

○所 見 組織の環境マネジメントが継続的に維持改善されていることを確認した。成果を継続しつつシステムの改善を期待する。不適合0件、改善提言4件、プラス評価3件

### 内部環境監査

○実施期間 2011年9月9日～10月21日

○監 査 員 28名 監査13チーム

○監査所見 総数30件、重大0件、軽微7件、観察11件、推奨事項3件、プラス評価9件

○監査結果 環境マネジメントシステムがISO14001の規格要求事項に適合して構築され適切に実施、維持されている

○そ の 他 内部環境監査員セミナーを開催し新たに3名養成した

## 事業活動と環境のかかわり (input◀▶output)

| エネルギー資源、水資源   |                       |
|---------------|-----------------------|
| 電力            | 6,681(7,895)万kwh      |
| ガス(LPガス・都市ガス) | 53(74)万m <sup>3</sup> |
| 水             | 35(48)万m <sup>3</sup> |
| 重油            | 887(1,198)kℓ          |
| 灯油            | 290(389)kℓ            |
| ガソリン          | 190(196)kℓ            |
| 軽油            | 670(756)kℓ            |
| 車両LPG         | 79(108)kℓ             |
| BDF           | 14(14)kℓ              |

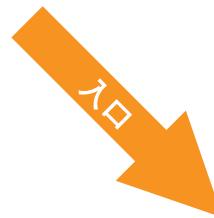
※( )内は前年の数値

### ◆低炭素社会構築に向け

生協事業におけるCO<sub>2</sub>の総量削減に努めました

○コープ富谷共同購入物流センター(TKLC)に80kwの太陽光発電システムを設置しました。

○電気自動車2台を共同購入富谷支部に導入しました。



みやぎ

供給高1,003

店舗  
46店舗

共同購入

10支部・家電センター  
コープ富谷共同購入  
物流センター(TKLC)

(株)コープフーズ東北(CFT)  
魚センター・肉センター・豆腐ライン・揚げライン

(株)コープトラベル東北

(株)コープ総合サービス・  
水事業センター



### 主な資材の消費

〈容器・包装材〉



|              |           |
|--------------|-----------|
| レジ袋(紙袋含)     | 19(19)t   |
| ロールポリ袋       | 47(44)t   |
| 包装紙          | 8(8)t     |
| 簡易包装紙        | 0.4(0.5)t |
| PS(発泡)トレー    | 98(123)t  |
| PS(発泡)以外のトレー | 127(125)t |
| ラップ          | 36(38)t   |
| その他のポリ袋      | 88(109)t  |

〈紙類〉

|          |               |
|----------|---------------|
| コピー紙     | 102(110)t     |
| コピー紙以外の紙 | 6,146(6,039)t |

※( )内は前年の数値

入口



### ■環境会計

- ◆環境保全コスト投資額:4億502万円(5,878万円)  
投資の主なものは、太陽光やLED照明、高効率冷凍機などの省エネ設備の導入費等
- ◆費用額:4億1,146万円(3億7,744万円)  
費用の主なものは、震災の影響で再資源化が一時中断したため廃棄物として処理した費用等
- ◆環境保全対策に伴う経済的效果(有益):  
4億948万円(2億4,055万円)  
廃棄口品の削減や再資源化品の売却費等  
※( )内は前年の数値、一部修正を行っています。

### ■環境に関する法規制とご意見

- ◆環境に関する法規制等の義務は25項目あり適切に管理しました。
- ◆環境に関するご意見は34件でした。

| 主な意見・事例報告など                     | 件 数 |
|---------------------------------|-----|
| 省エネの促進、店舗の節電など                  | 5件  |
| 古紙リサイクルボイントシステムや<br>店頭リサイクルに関して | 12件 |
| 省資源化促進、環境配慮商品の<br>取り扱いなど        | 13件 |
| サービスや生協の活動・運営について               | 4件  |

### ◆事業から排出される排ガス 廃棄物の管理を推進しました

01

食品の安全・安心の取り組み

02

メンバー &amp; 社会貢献活動

03

事業活動

04

環境活動

### ◆メンバーの協力で再資源化の取り組みが向上しました

- 古紙リサイクルポイントシステムを2011年度は15店舗拡大し、合計23店舗としました。
- 店頭リサイクルコーナーに新たな再資源物としてアルミ付紙パック(ABパック)を9月1日から全店で回収を開始しました。

再資源化(メンバー)

生協

億7,221万円  
(981億4,683万円)

#### サービス保障事業

サービスグループ  
住まいのセンター  
ブリエ案内センター  
共済センター  
共同保険センター

(株)宮城県学校用品協会  
5支所、こーぶ家庭教育センター

#### 車両使用台数

・ディーゼル車404(380)台  
・BDF車6(6)台  
・ガソリン車203(153)台  
・LPG車33(41)台  
・電気自動車(EV車)2台

※( )内は前年の数値  
(2012.3.20 現在)

再資源化(事業)

#### $\langle \text{CO}_2 \rangle$

事業上排出される $\text{CO}_2$ :  
36,935t (44,502)t/ $\text{CO}_2$

※委託車両除く

廃棄物の排出量(再資源化以外):  
4,138t (4,026 t)

※( )内は前年の数値

### 分別による再資源化ができている物

【店頭等の分別回収した再資源化量 : 8,441t】

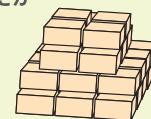


| 回収品目         | 回収量           | リサイクル率 | 再資源化         |
|--------------|---------------|--------|--------------|
| ペットボトル       | 146(124)t     | 63.1%  | 再生原料         |
| 牛乳パック        | 204(218)t     | 122.2% | トイレットペーパー・古紙 |
| トレー          | 143(149)t     | 63.2%  | 再生トレー        |
| アルミ缶         | 70(68)t       | 36%    | 再生原料         |
| 共同購入チラシ      | 3,603(3,741)t | 79.4%  | 古紙の原料        |
| 卵パック         | 36(38)t       | 55.2%  | ペット原料        |
| クリーニングハンガー   | 36(39)t       | —      | 再利用          |
| 筒型乾電池類       | 3(3)t         | —      | 原料化          |
| ペットボトルキャップ   | 8(7)t         | —      | 再生原料         |
| 古紙回収ポイントシステム | 4,192(719)t   | —      | 古紙の原料        |
| 合計           | 8,441(5,106)t | —      |              |

※( )内は前年の数値 ※仙台市の古紙回収庫は、10年度に限り算定から除きました。

### ◆事業から発生する排出物の再資源化を推進しました

事業から発生する排出物を分別、再資源化を行ってきましたが  
前年より1.0ポイント下まわり77.3%となりました



\*事業系再資源化率=再資源化重量÷(再資源化重量+廃棄物重量)

$$14,105t \div (14,105t + 4,138t) = 77.3\% \text{ (前年78.3\%)}$$

\*分別再資源化した量:14,380t(16,086t)

| 品目           | 回収量             | 再資源化            |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 紙類           | 335(338)t       | 古紙に再生           |
| 共同購入チラシ      | 3,603(3,741)t   | 古紙に再生           |
| BIN・スチール・アルミ | 121(131)t       | 再資源化            |
| 発泡スチロール      | 242(228)t       | 再生プラスチック        |
| ダンボール        | 7,548(6,982)t   | 古紙に再生           |
| 食用廃油         | 273(297)t       | BDF・ペットフード・飼料原料 |
| おから          | 369(1,151)t     | 家畜飼料            |
| 魚腸骨          | 122(401)t       | 家畜飼料・肥料         |
| 牛脂           | 104(145)t       | 油・飼料            |
| 揚げロス         | 43(34)t         | 家畜飼料            |
| 野菜果物クズ       | 693(766)t       | 堆肥化             |
| 廃プラスチック      | 169(165)t       | 高炉還元剤           |
| 粗大ゴミ・蛍光管     | 483(187)t       | 原料化             |
| 合計           | 14,105(14,565)t |                 |

※( )内は前年の数値 ※仙台市の古紙回収庫は、10年度に限り算定から除きました。

\*食品リサイクル率

$$\text{み や ぎ 生 協} : 1,730.7t \div 4,15.7t = 50.7\% (64.9\%)$$

コープフーズ東北 : 568.6t \div 569.1t = 99.9\% (99.9\%)

\*廃家電品排出量(引取り家電品) :

362台(460台)

# みやぎ生協30年の歩み

1982年に宮城県学校生協と宮城県民生協が合併して誕生したみやぎ生協。2012年は設立30年の節目の年にあたります。みやぎ生協が歩んできた30年を振り返り、事業活動や地域の中で果たしてきた主要な取組みを紹介します。



1981年10月27日、宮城県学校生活協同組合と宮城県民生活協同組合のあいだで合併契約書調印式が行われた。どちらも組合員数が5万人を超す規模の大合併であった。

## 1999

「マイバスケット持参運動」  
を開始し、社会的に大きな話題となる

レジ袋の削減を目指し、他の流通業者へも広がりをみせたマイバスケット運動



## 1982 みやぎ生協誕生

メンバー数  
(組合員数)  
156,147人

メンバー数  
(組合員数)  
180,255人

メンバー数  
(組合員数)  
355,700人

1982

1982

1982年供給高  
338億  
52百万円

1983年供給高  
381億  
53百万円

1992

1992年供給高  
801億  
74百万円

1995

メンバー数  
(組合員数)  
432,653人

1995

1995年供給高  
898億  
9百万円

1999

1999年供給高  
991億  
57百万円

1995

生活協同組合連合会・  
コープ東北サンネット事業  
連合会(法人)を設立

2月23日、「生活協同組合連合会・  
コープ東北サンネット事業連合」設立



田尻農協産直野菜取り扱い開始

## 1983

顔と暮らしの見える産直が進み、仙南地区の  
7農協に加えて田尻農協との連携が強まる



10月3日オープンした新プロトタイプ1号店明石台店の外観。マーク、色彩も一新

## 2002

みやぎ生協の新プロトタイプの店舗、明石台店が10月3日にオープン

## 1982 みやぎ生協誕生

2つの大型生協が合併して誕生したみやぎ生協は、流通業における単なる一つの業態ではなく、人と人が協同して「よりよいくらし」を実現するため、みやぎ生協の発展を通して、日本生協運動の発展・強化に寄与する、という高い志を掲げました。

## 1983 顔と暮らしの見える産直

みやぎ生協が誇る「顔と暮らしの見える産直活動」として進めてきた地場流通、産消提携の取組みは、宮城県民生協時代の1971年から開始されていましたが、着実に前進し、農産物の取扱高は20億円を超え、メンバーと生産者との交流も益々強まり、現在の「めぐみ野」の基礎を確立するに至りました。

## 1992 みやぎ生協設立10周年

みやぎ生協が設立してから10周年となる1992年には、記念式典や記念商品の新規開発、生協祭りの実施など多彩な取組みを行いました。また、供給高も800億円を超え、宮城県の中で、メンバー普段の暮らしを支える組織としての地位を確固たるものとしました。

## 1995 災害時の取組み

1995年1月に発生した「阪神・淡路大震災」後、みやぎ生協と仙台市は「災害時の応急物資の供給に関する協定」を締結しました。協定式の中で島野市長は、「24時間安心できる市をめざしたい。生協にはその一端を担ってもらいたい」との期待を表明しました。

## 1995 コープ東北サンネットを設立

みやぎ生協、いわて生協、生協共立社の3生協が参加するコープ東北サンネット事業連合が設立されました。設立趣意書では、「店舗事業の重視、共同購入事業の深厚など『総合的な生活共同事業』をめざす」ことが謳われ、21世紀を展望した事業課題を進めるための連携活動が本格的にスタートしました。

## 1999 マイバスケット持参運動

みやぎ生協では、1990年よりレジ袋削減のための取組みを進めてきましたが、更なるゴミ削減と資源節約のため、みやぎ生協の全42店舗でマイバスケット運動をスタートさせました。県内全域で一齊にスタートさせたのは東北では初の取組みでした。

## 2002 新プロトタイプの店舗

「普段の生活に鮮度と利便性を提供し、地域になくてはならない店舗」をキーコンセプトとし、みやぎ生協のあらたな主力業態となるSSM型の店舗である明石台店が富谷町にオープンしました。キッチンサポートや旬菜市場（現「めぐみ野旬菜市場」）などの試みに加え、障がい者への配慮、環境への配慮なども積極的に行っていました。

## 2005 みやぎ生協リサイクルセンター

店舗などから出る食品残渣やダンボールなどの廃棄物を処理し、再資源化を進めるためのリサイクルセンターが大衡村にオープンしました。このセンターの稼動により、みやぎ生協の食品残渣リサイクル率は27%から70%程度にまで引き上げられると同時に、センターで製造された堆肥を使用した野菜などの生産も開始されました。

みやぎ生活協同組合  
**CSR Report 2012** 2011年度  
社会・事業・環境活動についての報告書

発行日：2012年5月18日

発 行：みやぎ生活協同組合  
〒981-3194 宮城県仙台市泉区八乙女4-2-2

お問い合わせ先

- 総務部機関運営課 ..... TEL.022-771-1590 FAX.022-773-1821  
○環境活動に関する詳細は環境管理室 ..... TEL.022-771-2461

HPアドレス みやぎ生活協同組合 <http://www2.miyagi.coop/>

本報告書はホームページに掲載、ダウンロードできます。

この報告書は、植物性大豆インキと  
再生紙を使用しています。



みやぎ生協は、1998年から全店舗、店舗以外の全事業所と子会社で環境負荷低減のための環境マネジメントシステムであるISO14001の国際認証を取得し、継続して管理しております。